



佐賀県立九州陶磁文化館

平成24年度 年報・資料目録 No.32

Annual Report &  
Catalogue of Collections No.32  
The Kyushu Ceramic Museum  
2012.4 ~ 2013.3

## は じ め に

このたび、平成 24 年度の事業概要をまとめました。

昨年は、特別企画展「将軍家献上の鍋島・平戸・唐津  
～精巧なるやきもの～」、平成 23 年度に寄贈された澤田  
痴陶人の作品を展示した、寄贈記念「澤田痴陶人の世界」  
など九州陶磁文化館独自の企画展示を行いました。その他、  
館蔵品によるテーマ展をはじめ、九州山口陶磁展など、全  
部で 17 の展覧会を開催して陶芸文化の向上を図りました。

教育普及活動では、生涯学習の一環として、一般の方を  
対象にした陶芸教室（56 期）の開講や館蔵の名品に触れて  
鑑賞する陶芸文化講座などを開催しました。

この他、全国各地の機関から依頼された調査研究活動な  
どへの協力も総力をあげて対応いたしました。

当館の各種事業についても、今後、一層の充実に努めて  
まいりますので、引き続き関係各位の御指導と御協力をお  
願い申し上げます。

佐賀県立九州陶磁文化館  
館 長 鈴田 由紀夫

## 目 次

はじめに	1
目 次	2
館の概要	
設立の目的 活動の目的	3
沿革 施設・設備の概要	4
組織・職員等	7
佐賀県立博物館施設資料購入についての基本方針	9
佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程	10
佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領	13
事業日誌	14
展示活動	
1. 常設展	15
2. 企画展・テーマ展など	25
3. 利用状況	37
4. 館蔵資料の貸出	38
5. 資料閲覧・写真撮影・フィルム借用・印刷物等掲載・複製申請処理	38
教育普及活動	
1. 展示案内	39
2. 実技講座:陶芸教室	40
3. 佐賀県立九州陶磁文化館・地域主催イベント	41
4. 陶芸文化講座	41
5. 博物館実習	42
6. 印刷物等の刊行	42
7. 資料鑑識	42
8. 講演など	43
調査研究活動	
1. 調査	45
2. 調査協力(館内・館外)	45
資料収集活動	
1. 陶磁資料の収集	47
2. 図書資料の収集	47
館蔵資料目録	48

## 館の概要

### 設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁器をはじめ、各地域において、独自の伝統を継承発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料をあまねく収集・保存・展示し、あわせて調査研究や教育普及活動を行います。

したがって当館は、九州の陶芸文化に関する総合的施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしています。

### 活動の目的

#### ・展示活動

展示室は、5室に分かれ、そのうち固定展示室（第4展示室）においては、九州の陶磁の歴史を、実物あるいは図表・年表・写真などによって学ぶことができる仕組みになっています。柴田夫妻コレクション展示室（第5展示室）は江戸時代の有田焼を多数展示しています。他の3室では、企画展、その期間外は九州の古陶磁や現代陶芸の常設展示、あるいは随時個人もしくは団体の陶芸展を開催しています。

#### ・収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、歴史的、系譜的に資料（陶磁器・出土資料・古文書・古記録等）の調査収集を行っています。また資料の充実を図るため、資料の購入をはじめ寄贈・寄託資料の受入れにも努力しています。

#### ・調査研究活動

九州の陶芸あるいは陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など色々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また、学術講演会や研究の交流を通じて研究の進展を図っています。

#### ・教育普及活動

陶芸文化講座等を行って陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸教室等の開催を通じて創作活動の場を提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。



## 沿革

- 昭和 48. 1. 8 有田町長外、国際陶芸美術館建設について陳情
- 昭和 51. 4 陶芸文化施設調査費を計上
52. 4 陶芸文化施設調査費を計上
52. 6 佐賀陶芸文化センター（仮称）建設計画案を作成
52. 11 基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約
52. 11. 24 第1回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催
52. 12. 8 佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立（会長 鍋島直紹）
53. 2. 28 基本設計完了
53. 3. 29 建設費関係予算決定（約 19 億円）
53. 4. 1 専任職員 3 名を配置
53. 11. 15 建設工事入札
53. 12. 20 設備工事入札
53. 12. 27 用地譲渡契約締結（有田町より無償譲渡）
54. 1. 16 起工式
54. 5. 11 正式名称打合会（「西日本陶磁文化館」の案）
54. 7. 6 正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」  
（英文名称 THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM）と決定
54. 10. 3 外構・植栽工事入札
55. 3. 25 佐賀県立九州陶磁文化館竣工（建設工事費：1,745,100 千円）
55. 3. 27 佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布
55. 11. 1 開館
- 平成 元. 6. 12 染付鷲文三足大皿が重要文化財に指定
5. 3. 25 柴田夫妻コレクション展示室完成
5. 4. 29 柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室
6. 4. 1 旧窯業技術センター跡地(12,011.00 m<sup>2</sup>)を当館敷地として所管換
12. 2. 22 玄関自動ドア設置
12. 12. 4 染付山水文輪花大皿が重要文化財に指定
12. 12. 28 からくり時計設置
14. 3. 20 来館者用トイレ改修・増設
18. 3. 31 有田磁器（柴田夫妻コレクション）10,311 点が国登録有形文化財（美術工芸品）に登録

## 施設・設備の概要

- 所在地** 佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
- 設計管理** 内田祥哉＋アルセッド建築事務所
- 施工業者** (1) 建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体  
(2) 設備工事・電気設備…新生電気・宮園電気共同企業体

(3) 空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体

(4) 給排水設備…葉隠設備工業（株）

(5) 植栽…中村永楽造園土木（株）

工 期 昭和 54 年 1 月 16 日～昭和 55 年 3 月 25 日

規 模 (1) 敷地面積：43,619.59 m<sup>2</sup>

(2) 建築面積：3,831.93 m<sup>2</sup>

(3) 延床面積：6,526.54 m<sup>2</sup>

(4) 構 造：鉄筋コンクリート造地上 2 階、一部 3 階建

主要設備 (1) 電気設備

契約電力：320kw（6,000V 受電） 発電機：80kw（220V）

(2) 空調設備

冷 暖 房：吸収冷温水機（能力 544,320.0 kcal/h）平成 6 年施工

そ の 他：防排煙連動操作設備（防火シャッター、排煙ファン）等

(3) 給排水設備

給水設備：町水道使用、受入槽 30t（15t 2 基）

排水設備：町公共下水道

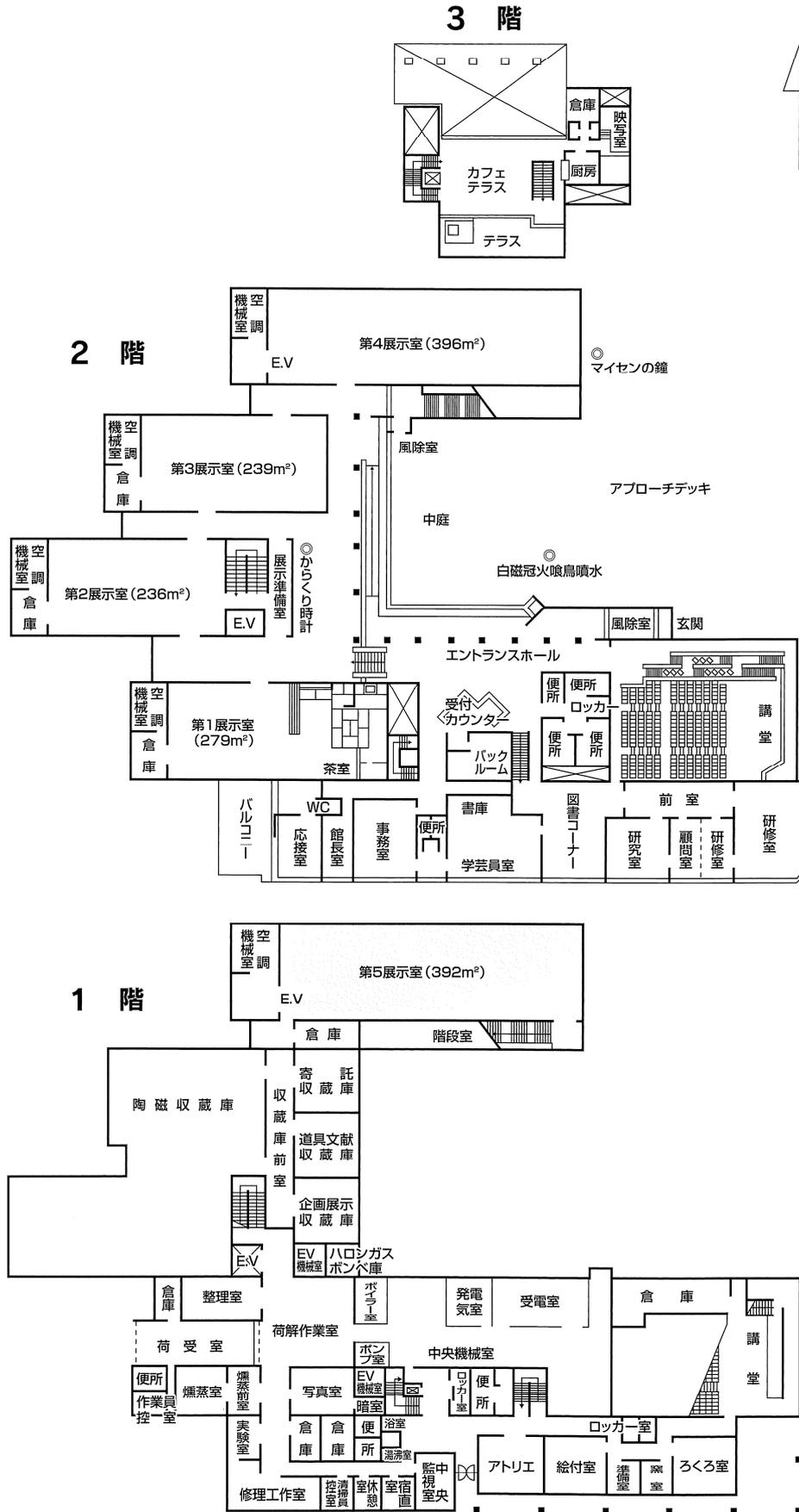
消火設備：屋内消火槽、ハロンガス消火設備等

そ の 他：給湯設備、身障者便所等

[単位：m<sup>2</sup>]

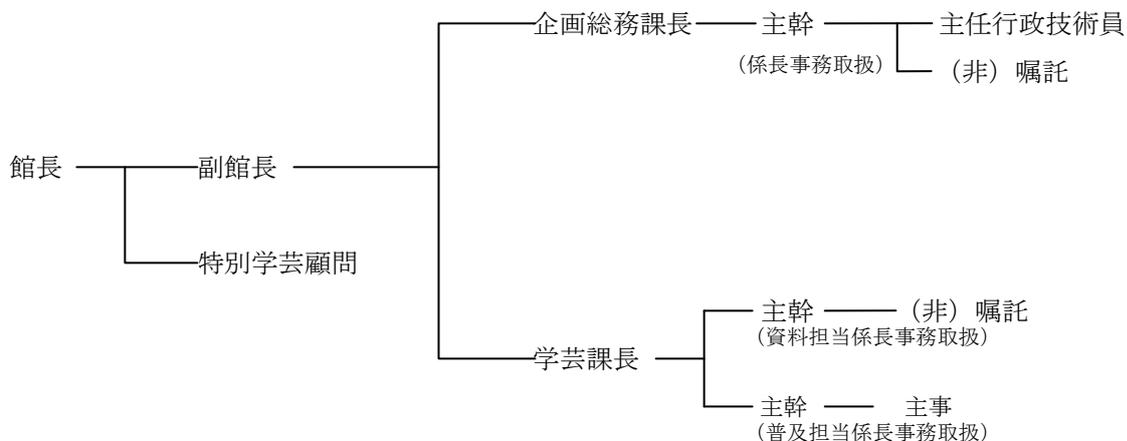
部 門	室 名	室数	面 積	部 門	室 名	室数	面 積
展示施設	一般展示室	1	279.56	研究施設	研 究 室	1	54.58
	企画展示室	1	236.95		実 験 室	1	19.21
	常設展示室	1	239.54		そ の 他	1	56.05
	固定展示室	1	396.26	小 計			129.84
	柴コレ展示室	1	392.13	管理施設	機 械 室		355.69
	展示準備室・倉庫	1	169.70		事 務 室 等		553.99
	小 計		1,714.14	小 計			909.68
収蔵施設	陶磁収蔵庫	1	532.68	共通施設	展 示 ホール		406.73
	道具・文献収蔵庫	1	61.72		エントランスホール		284.15
	寄託収蔵庫	1	43.78		そ の 他		868.61
	企画・展示収蔵庫	1	52.44		小 計		
	そ の 他		553.80				
	小 計		1,244.42				
研修施設	講 堂	1	385.49				
	陶芸実習室	4	122.38				
	一般研修室	2	203.76				
	図書コーナー	1	102.49				
	そ の 他		154.85				
	小 計		968.97	合 計			6,526.54

施設平面図



## 組織・職員等

### 1. 組織



### 2. 職員

職名	氏名	分掌事務
館長	鈴田 由紀夫	館の総括
特別学芸顧問 (嘱託)	大橋 康二	特別学芸顧問
副館長	松尾 みどり	館の総括補佐
企画総務課長	井崎 憲二	課の総括
主幹 (係長事務取扱)	藤瀬 敏弘	予算執行、決算、給与(等)、旅費、福利厚生
主任行政技術員	池田 良人	広報、庁舎・財産管理、文書、収入(図録等以外)
嘱託	高塚 亜弥	収入(図録等)、物品管理 (平成24年4月1日～平成25年1月9日)
嘱託	川内野 啓子	収入(図録等)、物品管理 (平成25年1月10日～3月31日)
学芸課長	家田 淳一	課の総括
主幹 (資料担当係長事務取扱)	宇治 章	資料調査収集、展示
嘱託	渡邊 恵	観覧者への説明案内、予約管理、コンピュータによる文書、情報等の処理
主幹 (普及担当係長事務取扱)	徳永 貞紹	教育普及・展示
主事	山本文子	教育普及・展示

平成25年3月31日現在

3. 協議会委員（任期：平成 23 年 6 月 23 日～平成 25 年 6 月 22 日）

氏 名	役 職 名
今 泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
宇 都 宮 忠	佐賀新聞社論説委員 (H.24.6.2～)
緒 方 知 美	筑紫女学園大学講師
尾 崎 葉 子	有田町歴史民俗資料館長
酒井田 柿右衛門	有田窯業大学校校長
高 田 和 代	自営業（有田つどい庵店主）
田 代 正 昭	有田町長
友 田 久 恵	表千家佐賀県支部副支部長
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
服 卷 稔 幸	佐賀県議会議員 (H.24.6.2～)
山 口 隆 敏	有田商工会議所会頭
武 田 富 美 子	有田町立大山小学校教諭
川 内 嘉 津 子	佐賀県地域婦人連絡協議会理事
岸 ゆかり	有田町教育委員

平成 25 年 3 月 31 日現在

4. 資料専門委員会

氏 名	役 職 名
酒井田柿右衛門	有田窯業大学校校長
中里太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長 佐賀県陶芸協会副会長
尾 崎 直 人	福岡市美術館 学芸課嘱託

平成 25 年 3 月 31 日現在

## 佐賀県立博物館施設資料購入指針

(趣旨)

第1条 この指針は、規則その他規程に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館（以下「各館」という。）の資料購入を行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて別途定める「佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「委員会」という。）」において、選定するものとする。

(資料購入費の配分)

第3条 委員会事務局は、各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。

2 購入資料の選定後、文化課は各館からの申請により資料購入費を再配当する。

(購入予定資料の評価)

第4条 委員会で選定した購入資料のうち、一件の購入予定価格が400万円以上のものについては、当該資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入予定価格の如何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入取りやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することとする。

(資料の購入先)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ヶ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附則

(適用期日)

1 この指針は、平成24年5月9日から適用する。

## 佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館（以下「陶磁文化館」という。）が陶磁文化館資料（佐賀県財務規則（平成4年佐賀県規則第35号。以下「財務規則」という。）第143条第2項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。）の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行う場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

### (資料の分類)

第2条 資料の分類は、別表1の分類により整理するものとする。

### (資料の購入)

第3条 陶磁文化館で購入する資料は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会（以下「資料専門委員会」という。）で選考し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「調整委員会」という。）において選定するものとする。

- 2 陶磁文化館長（以下「館長」という。）は、調整委員会で購入を選定した資料のうち1件あたりの購入予定価格が400万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書（別記様式第1号）により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定価格の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。
- 3 館長は、前項の規定による評価の結果により購入を取り止めようとする場合又は購入が不可能と判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は、調整委員会へ速やかにその旨を報告するものとする。

### (資料の寄贈)

第4条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書（別記様式第2号）により館長に申し込まなければならない。

- 2 館長は、前項の規定により申込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書（別記様式第3号）を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1件あたりの時価見積額が400万円以上の資料については、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。
- 3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書（別記様式第4号）を送付するものとする。

### (資料の寄託及び一時預り等)

第5条 陶磁文化館に資料を寄託（1年以上の期限を定めた寄託に限る。）しようとする者は、資料寄託申込書（別記様式第5号）により館長に申し込まなければならない。

- 2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書（別記様式第6号）により所有者の承諾を得なければならない。
- 3 寄託の申し込みのあった資料で館長が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入

調書（別記様式第7号）を作成し、受入れを決定するものとする。

- 4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書（別記様式第8号）により契約を締結した後、寄託資料台帳（別記様式第9号）にその旨を登載するものとする。
- 5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対し、資料一時預り証（別記様式第10号）を発行するとともに、一時預り資料台帳（別記様式第11号）にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。
- 6 埋蔵文化財（出土品）等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳（別記様式第12号）にその旨を登載する。

#### （資料の整理）

- 第6条 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料一件ごとに資料カード（別記様式第13号）を作成し、整理しなければならない。
- 2 前項の資料には、資料ラベル（別記様式第14号）を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付し、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
  - 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤枠で表示し区別するものとする。

#### （資料の貸出し）

- 第7条 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、業務に支障がない場合に限り、館長が貸出しを許可することができる。
- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書（別記様式第15号）又はこれに準ずる申請書を館長に提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者（第5条第6項に規定する場合は、当該資料を管理している者。第8条第2項において同じ。）の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
  - 3 館長は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出台帳（別記様式第16号）にその旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書（別記様式第17号）を交付するものとする。また、貸出しに際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
  - 4 資料の貸出しを行なう場合又は返納を受ける場合は、委任出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損又は亡失があったときは、館長は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

#### （資料の公開・特別利用）

- 第8条 資料の公開は、博物館及び美術館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外

には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、印刷物・電子媒体等での画像使用、複製等（以下「特別利用」という。）を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、館長は条件を付してその利用を許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記様式第18号）又はこれに準ずる申請書を館長に提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 館長は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿（別記様式第19号）にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書（別記様式第20号）を交付するものとする。
- 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
- 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を館長に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

（補足）

第9条 この規定に定めるもののほか、資料の取扱いについて必要な事項は、別に館長が定める。

附 則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

## 九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領

### (趣 旨)

**第1条** この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の管理に関する規則（昭和55年佐賀県教育委員会規則第5号）第14条の規定に基づき、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (使用の申込み)

**第2条** 九州陶磁文化館の施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書（以下「申込書」という。）（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

### (使用の承認等)

**第3条** 館長は、申込書を提出した者に対し、施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

2 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。

- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集団的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

### (使用目的の変更等の禁止)

**第4条** 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

### (使用者の義務)

**第5条** 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他館長の指示に従うこと。

### (使用承認の取消し等)

**第6条** 館長は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の承認を取り消し、又は使用の中止を命ずることができる。

- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに該当することが明らかとなった場合
- 三 前二条の規定に違反した場合

2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に損害を生ずることがあっても、これに対する補償は行わないものとする。

### (弁償)

**第7条** 使用者は、施設等の使用において資料又は施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、館長の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会その他の会合に参加している者が前項に掲げる行為を行った場合についても、館長の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

### (光熱水費の負担)

**第8条** 館長は、使用者が使用に際して相当の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に対して相当の光熱水費の負担を求めるものとする。

2 使用者は、前項の規定により、館長から光熱水費の負担を求められた場合は、指示された期限までに納入しなければならない。

### (収益等を伴う場合の取扱い)

**第9条** 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

### 附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。  
この要領は、平成22年1月1日から施行する。

様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書（略）

様式第2号 九州陶磁文化館使用承認書（略）

## 事業日誌

- 平成 24. 4. 29 「第 109 回 九州山口陶磁展」(～5.10) (第 1 部美術工芸品・オブジェの部)
5. 19 「新収蔵品展 I 寄贈記念 澤田痴陶人の世界」(～6.17)
5. 26 第 56 期 陶芸教室・第 16 期 ボランティア養成講座開講 (～7.28)
6. 23 「新収蔵品展 II」(～7.16)
6. 27 「第 30 回 新工芸西九州工芸展」(～7.8)
7. 10 「第 21 回 陶千坊展」(～7.16)
7. 20 年報・資料目録(平成 23 年度 No.31) 刊行
7. 22 「第 26 回 現代工芸美術九州会展」(～7.29)
7. 30 平成 24 年度博物館実習 (～8.10)
8. 1 平成 24 年度佐賀県立九州陶磁文化館協議会
8. 4 「テーマ展 夏休み やきもの水族館」(～9.2)
9. 8 「第 11 回 伊万里・有田焼伝統工芸士展」(～9.23)
10. 6 「特別企画展 将軍家献上の鍋島・平戸・唐津一精巧なるやきもの一」(～11.25)
12. 14 「新春展 花の器」(～1.14)
1. 22 「第 44 回 有田工業高等学校卒業制作展」(～1.27)
1. 29 「第 31 回 西松浦郡小・中学校学童美術展」(～2.3)
2. 5 「第 3 回 究陶会展」(～2.17)
2. 19 「第 27 回 有田窯業大学校卒業制作展」(～2.24)
2. 23 平成 25 年度 第 1 回・第 2 回 陶芸文化講座(午前・午後)
2. 26 「第 24 回 九州陶磁器デザイナー協会展」(～3.3)
3. 12 「第 28 回 有田陶交会展」(～3.17)
3. 19 「春期茶道具名品選」(～4.7)
3. 31 セラミック九州 No.49 刊行

## 展 示 活 動

### 1. 常設展について

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。

順路は第4展示室（固定展示室）から始まり、第5展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）を經由して第2展示室（現代の九州陶芸）で終わります。第1展示室は個展やグループ展、あるいは小規模な企画展が開かれるため通常は茶室だけを御覧いただけます。

内容的には九州の陶磁の基礎的学習ができる第4展示室、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクションの第5展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第2展示室というそれぞれの特徴があります。

これらの展示は、第2・3展示室は平成24年11月下旬に、柴田夫妻コレクションは平成24年12月中旬に展示内容を一新しました。

大規模な企画展が開かれる場合は、固定展示室、柴田夫妻コレクション展示室を除いて他の2室は一時的に撤収されることがあります。

#### (1) 固定展示室（第4展示室）

この展示室では、やきものについての基礎的な知識をはじめ、中国・朝鮮国の強い影響のもと、日本の、とりわけ九州の陶磁器がどのように発展してきたか、古代・中世から近世・近代までの流れを紹介しています。特に、肥前で生産された磁器については、その生産の技術や国内での流通及び海外との貿易についても説明しています。また、陶器や磁器の具体的な製作工程や装飾技法についても学ぶことができます。

展示内容を詳しく解説した冊子「土と炎」を刊行しています。

なお、蒲原コレクションの輸出伊万里101点は、この展示室で御覧になれます。



第4展示室

会 期	平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日 休館日の月曜日と年末の休館日 (12/29～12/31) を除く
展 示 室	第 2 展示室、第 3 展示室及び展示ホール 第 4 展示室（固定展示室） 第 5 展示室（柴田夫妻コレクション展示室）
入 館 者	51,013 人 1 日平均 157 人（325 日）



展示ホール

#### 【展示内容】

1. やきものの基礎知識
2. 中国・朝鮮の陶磁の流れ
3. 日本の陶磁の流れ
4. 九州陶磁の展開（タッチパネル）
5. 九州の陶器
6. 磁器の始まり
7. 有田・大川内山の登窯
8. 窯跡復元模型
9. 九州の磁器
10. 古伊万里とオランダ貿易
11. ヨーロッパの古伊万里
12. 蒲原コレクション
13. 近代の九州陶磁
14. 装飾技法
15. 陶片にみる肥前のやきもの
16. 陶器と磁器の制作工程

**(2) 柴田夫妻コレクションの展示 (第5展示室)**

柴田明彦・祐子夫妻から、平成2年より15年にかけて寄贈していただいた江戸時代の有田磁器約10,311点の中から544件1,145点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史の変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなコーナーを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。



年代による変遷コーナー

**(3) 九州の古陶磁 (第3展示室)**

常設展「九州の古陶磁」は、肥前・佐賀と、長崎・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の九州各県に分けて、江戸時代のやきものを紹介しています。

唐津焼の陶器に始まる肥前のやきものは、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島藩窯様式など様々な陶磁器を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。

館蔵品を中心にした展示総数は138件177点で、寄託品など5件5点を含んでいます。

**【展示内容】**

**佐賀**

1. 肥前・唐津焼
2. 初期伊万里様式
3. 古伊万里 正保様式
4. 古伊万里 寛文様式
5. 古伊万里 延宝様式と柿右衛門様式
6. 古伊万里 元禄・宝暦様式および輸出向け古伊万里
7. 古伊万里 天明・文政様式
8. 鍋島藩窯様式
9. 近代

**九州**

10. 長崎の陶磁器
11. 福岡の陶磁器
12. 熊本の陶磁器
13. 大分・宮崎の陶磁器
14. 鹿児島の陶磁器
15. 沖縄の陶磁器
16. 近代

会期 平成24年12月～平成25年12月

●コーナー

- 1 年代による変遷
- 2 名前のつけ方
- 3 磁器の種類
- 4 江戸時代の食膳
- 5 器を現代に生かす
- 6 植物の文様と形
- 7 動物の文様と形
- 8 器物の文様と形
- 9 出土陶片との比較



器を現代に生かすコーナー

会期 平成24年12月～平成25年11月

(会期中企画展等のため一時的に撤収される場合がある)

**〈構成〉**

**佐賀 【86件 106点】**

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. 肥前・唐津焼                  | 18件 22点 |
| 2. 初期伊万里様式                 | 5件 5点   |
| 3. 古伊万里 正保様式               | 8件 8点   |
| 4. 古伊万里 寛文様式               | 6件 6点   |
| 5. 古伊万里 延宝様式と柿右衛門様式        | 8件 13点  |
| 6. 古伊万里 元禄・宝暦様式および輸出向け古伊万里 | 9件 10点  |
| 7. 古伊万里 天明・文政様式            | 7件 7点   |
| 8. 鍋島藩窯様式                  | 21件 29点 |
| 9. 近代                      | 4件 6点   |

**九州 【52件 71点】**

- |               |         |
|---------------|---------|
| 10. 長崎の陶磁器    | 12件 26点 |
| 11. 福岡の陶磁器    | 10件 10点 |
| 12. 熊本の陶磁器    | 8件 12点  |
| 13. 大分・宮崎の陶磁器 | 2件 2点   |
| 14. 鹿児島の陶磁器   | 8件 8点   |
| 15. 沖縄の陶磁器    | 11件 11点 |
| 16. 近代        | 1件 2点   |

【九州の古陶磁 展示目録】

No.	資料名	点数	生産地	年代	口径	器高	底径
<b>【肥前・唐津焼】</b>							
1	藁灰釉壺	1	肥前	1580～1590年代	10.2/14.4(胴)	13.8	7.8
2	灰釉壺	1	肥前	1580～1600年代	13.0	18.3	17.5
3	鉄絵萩文壺(絵唐津)	1	肥前	1590～1610年代	12.0/16.3(胴)	14.1	7.5
4	鉄絵草文向付(絵唐津)	5	肥前	1590～1610年代	5.9	10.0	3.9
5	鉄絵草文三足付鉢(絵唐津)	1	肥前	1590～1610年代	17.1/17.0(胴)	11	7.7
6	鉄絵千鳥草文向付(絵唐津)	1	肥前	1590～1610年代	17.1	6.1	5.7
7	鉄絵草文片口(絵唐津)	1	肥前	1590～1610年代	17.1/17.0(胴)	11.0	7.7
8	象嵌耳付水指(三島手)	1	肥前	1610～1630年代	13.2×13.8/19.6(胴)	17.7	12.7
9	鉄絵瓜文瓶	1	肥前	1590～1610年代	9.2/24.2(胴)	31.9	17.8
10	緑釉唐花草文四耳壺(二彩手)	1	肥前	1640～1670年代	11.5/24.2(胴)	28.6	12.4
11	象嵌花文大鉢(三島手)	1	肥前	1660～1690年代	33.1	11.5	12.5
12	櫛刷毛目文大皿(二彩手)	1	肥前	17世紀中葉～後半	49.7	14.7	17
13	二彩唐津櫛目流釉瓶	1	肥前	1670～1730年代	5.5/19.3(胴)	32.0	11.8
14	鉄絵松文甕	1	肥前	18世紀後半～19世紀初	36.0	27.0	14.6
15	呉須絵竹虎文水指(京焼風陶器)	1	肥前	1660～1690年代	13.0	17.5	12.0
16	呉須絵鶴文菱形筆筒(献上唐津)	1	肥前	18世紀末～19世紀中頃	11.8×9.2	11.9	16.7×12.7
17	象嵌雲鶴文手付皿(献上唐津)	1	肥前	18世紀後半～19世紀前半	25.0×24.0	3.9/13.0(柄まで)	18.9
18	白盛三階菱文大皿(献上唐津)	1	肥前	18世紀末～幕末	41.4	7.2	19.8
<b>【初期伊万里様式】</b>							
19	染付山水文水指	1	肥前・有田窯 県重要文化財	1610～1630年代	14.2×14.8/16.7(胴)	16.4/18.1(蓋)	10.5
20	染付山水文瓶	1	肥前・有田窯	1630～1640年代	4.8/19.2(胴)	33.4	13.5
21	染付楼閣山水文大皿	1	肥前・有田窯	1630～1640年代	45.8	13.5	13.4
22	染付鉄釉秋草文茶碗	1	肥前・有田窯	1630～1640年代	9.7/10.4(胴)	7.3	5.8
23	青磁辰砂彫文水指	1	肥前・有田窯	1630～1640年代	16.3/18.6(胴)	14.6	8.8
<b>【古伊万里 正保様式】</b>							
24	染付山水文輪花大皿	1	肥前・有田窯 重要文化財	1640～1650年代	39.4	10.1	21.0
25	色絵樹木花鳥文大皿	1	肥前・有田窯	1640～1650年代	39.9	8.3	21.2
26	色絵山水文大皿(青手)	1	肥前・有田窯	1650～1660年代	43.9×42.6	8.5	20.4
27	色絵蕙文輪花皿(青手)	1	肥前・有田窯	1650年代	25.3	6.3	14.4
28	色絵菊龍文鉢	1	肥前・有田窯	1655～1660年代	22.1×20.4	10.5	8.2
29	染付鷺文変形皿	1	肥前・有田窯	1660～1670年代	16.0×12.0	2.6	9.3×5.3
30	瑠璃釉青磁変形皿	1	肥前・有田窯	1660～1670年代	16.3×12.2	2.5	9.8×6.0
31	陶胎染付山水文水指	1	肥前・有田窯	1650～1660年代	9.8	18.8/20.4(蓋)	12.4
<b>【古伊万里 寛文様式】</b>							
32	染付竹虎文大皿	1	肥前・有田窯	1650～1660年代	58.5	14.6	27.4
33	染付芙蓉手花鳥文皿	1	肥前・有田窯	1655～1680年代	38.6	7.9	17.0
34	色絵梅花沢瀉文瓶	1	肥前・有田窯	1650～1660年代	3.6/14.8(胴)	27.6	
35	色絵牡丹文壺	1	肥前・有田窯	1655～1670年代	9.8/18.2(胴)	21.9/27.2(蓋)	9.7
36	青磁輪繫形三足付皿	1	肥前・有田窯	1660～1670年代	23.8	10.2	15.0
37	色絵桜花文瓢形瓶(仁清手)	1	肥前・有田窯	1655～1670年代	2.7/13.8(胴)	26.3	8.1



3 鉄絵萩文壺(絵唐津) 肥前  
1610～40年代



37 色絵桜花文瓢形瓶(仁清手) 肥前・有田窯  
1655～70年代

No.	資料名	点数	生産地	年代	口径	器高	底径
<b>【古伊万里 延宝様式と柿右衛門様式】</b>							
38	色絵基盤童子置物(柿右衛門様式)	1	肥前・有田窯	1670～1690年代	16.7×15.5(胴)	25.6	13.3×12.5 (基盤)
39	色絵花鳥文角瓶(柿右衛門様式)	2	肥前・有田窯	1670～1690年代	9.4/11.3×11.1(胴)	34.7(蓋)	12.8×12.5 (金具)
40	色絵龍虎文輪花皿(柿右衛門様式)	1	肥前・有田窯	1670～1690年代	23.6	4.7	14.3
41	色絵松竹梅文輪花鉢(柿右衛門様式)	1	肥前・有田窯	1670～1700年代	19.2	8.5	8.4
42	白磁雪輪三足付皿	5	肥前・有田窯	1670～1690年代	14.9	4.1	9.6
43	染付若松柴垣文輪花皿	1	肥前・有田窯	1670～1680年代	18.3	2.4	12.4
44	色絵花鳥文皿	1	肥前・有田窯	1670～1690年代	21.9	3.0	12.6
45	染付花鳥文皿	1	肥前・有田窯	1670～1690年代	21.7	3.1	12.5
<b>【古伊万里 元禄・宝暦様式および輸出向け古伊万里】</b>							
46	色絵牡丹鳳凰文八角大壺	2	肥前・有田窯	1690～1730年代	(左)19.1/34.5(胴)	(左)41.9/54.8(蓋)	(左)17.3
47	色絵牡丹鳳凰花鳥文大皿	1	肥前・有田窯	1700～1740年代	55.5	9.5	27.0
48	染付火盆文大蓋物	1	肥前・有田窯	1690～1730年代	29.3/42.2(径)	9.7/20.3(蓋)	24.8
49	色絵花卉文手付瓶	1	肥前・有田窯	1690～1730年代	9.9/12.7(胴)	22.1	9.0
50	色絵ケンタウロス文皿	1	肥前・有田窯	1700～1730年代	26.5	4.0	14.4
51	色絵花鳥文透彫鉢	1	肥前・有田窯	1700～1730年代	19.2	6.5	9.0
52	色絵赤玉雲龍文鉢	1	肥前・有田窯	1690～1730年代	26.0	10.3	11.7
53	色絵捻花文輪花鉢	1	肥前・有田窯	1770～1790年代	18.6	10.6	9.5
54	色絵唐花文輪花大皿	1	肥前・有田窯	1810～1840年代	40.6	9.5	20.9
<b>【古伊万里 天明・文政様式】</b>							
55	色絵桜樹文角形銚子	1	肥前・有田窯	1770～1790年代	11.1×10.7/18.6(胴)	16.2	11.1×10.9
56	染付富士松原文輪花大皿	1	肥前・志田窯	1820～1860年代	31.9	5.8	17.6
57	染付竹林七賢人文組皿	1	肥前・有田窯	1820～1860年代	17.6×17.0(中央)	3.5	9.7
58	染付網目文大皿	1	肥前・有田窯	1780～1820年代	45.8	10.6	22.3
59	色絵祥瑞草花文楕円皿	1	肥前・有田窯	1780～1800年代	28.0×19.3	2.2	27.4×18.9
60	染付世界地図大皿	1	肥前・有田窯	1830～1840年代	52.8	7.7	28.8
61	瑠璃地色絵花鳥菊流水文角皿	1	肥前・有田窯	1760～1790年代	19.7(一辺)	5.2	12.0
<b>【鍋島藩窯様式】</b>							
62	色絵薄瑠璃唐花文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1650～1670年代	14.5	2.1	7.9
63	色絵鸚鵡文猪口	1	肥前・鍋島藩窯	1650～1660年代	6.1	6.4	3.5
64	染付雲文猪口	1	肥前・鍋島藩窯	1650～1660年代	5.5	6.4	3.4
65	色絵花文猪口	1	肥前・鍋島藩窯	1650～1660年代	6.3	6.3	3.3
66	色絵群馬文変形皿	5	肥前・有田 岩谷川内藩窯 佐賀県重要文化財	1650年代頃	16.4×12.5	3	10.0×7.0
67	色絵薄瑠璃唐花文菱形皿	1	肥前・鍋島藩窯	1670～1680年代	16.2×13.7	3.5	8.9×7.4
68	染付錆釉梅樹文変形皿	1	肥前・鍋島藩窯	1670～1690年代	17.8×13.3	4.2	10.3×6.0
69	色絵菊唐草文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1670～1690年代	15.6	3.6	8.0
70	染付流水鳥文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1670～1690年代	15.5	3.3	8.6
71	染付鷲文三足大皿	1	肥前・鍋島藩窯 重要文化財	1690～1710年代	28.0	8.5	17.5



39 色絵花鳥文角瓶 肥前・有田窯  
1670～90年代



70 染付流水鳥文皿 肥前・鍋島藩窯  
1670～90年代

No.	資料名	点数	生産地	年代	口径	器高	底径
72	色絵蔓薔薇文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1690～1720年代	15.1	4.4	7.9
73	色絵桜樹文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1690～1730年代	20.2	5.8	11.0
74	染付銀杏唐花文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1700～1730年代	20.2	6.0	10.9
75	色絵絵草紙文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1690～1720年代	20.4	5.8	10.3
76	染付青磁雷文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1730～1750年代か	20.3	5.3	10.0
77	青磁唐花唐草陽刻文水指	1	肥前・鍋島藩窯	18世紀	13.8/21.0(胴)	18.5	11.5
78	青磁色絵紅葉竹垣文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1730～1770年代か	14.8	4.7	7.9
79	白磁玉取獅子置物	1	肥前・鍋島藩窯	18世紀か	22.4×13.2(胴)	20.2	19.3×11.9
80	染付瀧松文大皿	1	肥前・鍋島藩窯	1770～1790年代	35.1	10.5	18.2
81	染付灘越蝶文大皿	1	肥前・鍋島藩窯	1800～1860年代	34.3	9.8	17.3
82	染付楼閣山水文隅入角皿	5	肥前・鍋島藩窯	1810～1840年代	14.5×14.5	3.4	9.5
<b>【長崎の陶磁器】</b>							
83	青磁染付菊流水文三足付鉢	1	肥前・波佐見窯	1660～1690年代	29.7	7.3	10.1
84	染付扇面菊割文皿	5	肥前・波佐見窯	18世紀	13.1	4.2	7.8
85	打刷毛目藤文角切皿	1	肥前・現川窯	1690～1740年代	18.2×18.1	5.2	10.3
86	染付秋草文皿	1	肥前・三川内窯	享保八年(1723)	14.1	3.9	7.5
87	染付雲龍麒麟文耳付花生	1	肥前・三川内窯	19世紀前半	16.2	32.0	11.0
88	染付菊貼花文蓋物	2	肥前・三川内窯	19世紀前半	5.9	7.2/10.4(蓋)	5.6
89	三彩釉蓋付碗	10	肥前・長与窯	1790～1820年代	10.9	7.2/10.1(蓋)	4.7
90	染付雪景山水文四段重	1	肥前・亀山窯	1800～1860年代	11.4×11.6(径)	19.9(総高)	11.2×11.3
91	染付唐花唐草文段重	1	肥前・亀山窯	1820～1860年代	18.0/18.2(胴)	13.8(総高)	8.3
92	色絵山水文手焙	1	肥前・亀山窯	1840～1870年代	14.4/22.1(胴)	18.2	16.3
93	刷毛目涼炉	1	肥前・鵬ヶ崎窯	1820～1850年代	13.0/16.2(胴)	14.8	9.5
94	印刻龍文水指	1	肥前・対州窯	18世紀末～19世紀	13.1/14.5(胴)	12.5	8.7
<b>【福岡の陶磁器】</b>							
95	褐釉線条文肩衝水指	1	豊前・上野窯	17世紀前半	9.4/17.8(胴)	15.5	15.7
96	鉄絵筒茶碗	1	豊前・上野窯	1600～1630年代	10.3	9.3	6.3
97	藁灰釉掛分沓茶碗	1	筑前・高取窯	1610～1620年代	13.5×12.1	6.7	5.6
98	藁灰釉流耳付水指	1	筑前・高取窯	1610～1620年代	10.4/22.2(胴)	14.3	13.5
99	叩き灰釉櫛目文水注	1	筑前・高取窯	17世紀初頭	13.6/23.2(注口まで)	9.4/11.3(蓋)/ 16.3(柄まで)	15.7
100	藁灰釉小壺	1	筑前・高取窯	1610～1620年代	10.9/15.8(胴)	11.7	7.1
101	御本雲鶴写茶碗	1	筑後・柳原窯	19世紀前半	13.2	7.2	5.1
102	染付菊形香炉	1	筑前・須恵窯	18世紀後半	6.3	8.4	4.5
103	染付馬文菱形水指	1	筑前・須恵窯	18世紀後半～19世紀初	19.6×16.5	15.3	19.5×16.8
104	褐釉四耳付葉茶壺	1	筑後・星野窯	18世紀末～19世紀	24.3/43.0(胴)	60.4	15.8



90 染付雪景山水文四段重 肥前・亀山窯  
1800～60年代



95 褐釉線条文肩衝水指 豊前・上野窯  
17世紀前半

No.	資料名	点数	生産地	年代	口径	器高	底径
<b>【熊本の陶磁器】</b>							
105	象嵌竹文水平水指	1	肥後・八代窯	18世紀後半～19世紀	24.9/24.9(胴)	10.1	20.0
106	飴釉肩衝茶入	1	肥後・八代窯	17世紀	3.2/5.3(胴)	8.7	4.7
107	象嵌暦手竹文蓋付壺	1	肥後・八代窯	19世紀	8.9/17.1(径)	20.2/24.1(蓋)	8.1
108	伊羅保写茶碗	1	肥後・八代窯	18世紀末～19世紀初	15.2	8.6	6.0
109	流掛釉俵壺	1	肥後・小代窯	17～18世紀	4.0/24.1×17.6(胴)	19.9	14.7×11.4 (脚間)
110	藁灰飴釉掛分舟形手付皿	1	肥後・小代窯	17世紀	16.5×22.6	5.1/9.0(手まで)	8.1
111	染付梅花氷裂文蓋付壺	1	肥後・天草 高浜窯	19世紀前半	6.0/11.2(胴)	11.9/15.5(蓋)	5.4
112	白磁牡丹花形皿	5	肥後・網田窯	1790～1820年代	16.7	5.7	8.7
<b>【大分・宮崎の陶磁器】</b>							
113	流掛釉水注	1	豊後・小鹿田窯	19～20世紀	14.8/18.0(胴)	29.5	11.6
114	呉須絵蘭竹文瓶	1	日向・蓬來山窯(丸山窯)	1830～1882年頃	3.5/14.3(胴)	24.3	7.6
<b>【鹿児島島の陶磁器】</b>							
115	白釉碗	1	薩摩	17世紀後半	12.5	8.6	5.4
116	灰釉茄子形茶入	1	薩摩・堅野窯系	17世紀前半	2.6/7.0(胴)	6.8	3.4
117	鉄絵幾何学文酒注(宋胡録手)	1	薩摩・苗代川窯	18世紀末～19世紀	5.2/17.6(胴)	18.2	9.2
118	黒蛇蝸釉茶碗	1	薩摩・元立院窯 西餅田窯	17世紀後半	12.8×12.2	6.9	4.9
119	二彩釉酒注	1	薩摩・龍門司窯	19世紀前半	4.6/10.6(胴)	13.6	6.1
120	染付料理文瓶	1	薩摩・平佐窯	19世紀前半	4.5/15.6(胴)	16.9	14.1
121	色絵岩牡丹文耳付花生	1	薩摩・平佐窯	19世紀中葉	12.5	22.0	10.9
122	色絵草花文角鉢	1	薩摩・平佐窯	19世紀中葉	18.9×17.7	7.6	5.8
<b>【沖縄の陶磁器】</b>							
123	焼締連座文台付瓶(瓶子)	1	琉球・喜名窯 か知花窯	17世紀後半	4.5	17.6	7.4
124	褐釉徳利	1	琉球・古我知窯	17世紀末～18世紀前半	5.2/8.5(胴)	18.0	5.5
125	鉄絵草文碗	1	琉球・湧田窯	17世紀後半	12.9	6.1	6.6
126	色絵菊唐草文碗	1	琉球・壺屋窯	19世紀前半	12.4	6.1	6.0
127	三彩釉松竹梅文徳利	1	琉球・壺屋窯	18世紀末～19世紀前半	4.0/10.0(胴)	19.5	7.1
128	緑釉掛分象嵌線文対瓶	1	琉球・壺屋窯	19世紀前半	2.3/9.0(胴)	18.5	6.0
129	緑釉湯庫	1	琉球・壺屋窯	18世紀後半～19世紀前半	8.8/18.3(胴)	19.6/20.6(蓋)	11.3
130	三彩釉梅花文急須	1	琉球・壺屋窯	19世紀	5.6/12.1(胴)	8.8/10.8(蓋)	6.8(無袖部)
131	三彩釉酒注	1	琉球・壺屋窯	19世紀	5.3	11.2	7.5
132	壺(バナリ焼)	1	琉球・八重山諸島	17世紀～18世紀	13.5	21.1	
133	焼締三耳壺(荒焼)	1	琉球	18～19世紀	16.5/42.2	74.2	23.5
<b>【近代】</b>							
134	染付岩芭蕉文大皿「明三」銘	1	肥前・白石窯	明治三年(1870)	48.2	7.8	26.0
135	色絵宝珠鳳凰文家紋入チューリップ瓶	1	肥前・有田窯	19世紀後半	最大径30.8	27.0	14.5×11.7
136	色絵草花鳳凰文家紋入台付透菱形鉢	2	肥前・有田窯	明治	28.8×20.5	22.5	14.6×11.0
137	色絵瑞獣文花瓶	2	肥前・有田窯	1850～1870年代	11.1	27.1	11.8
138	色絵金彩鳳凰文瓶	2	薩摩・磯・仙巖窯	19世紀末	10.3～10.4/ 22.8～22.9(胴)	38.9～39.0	14.0



109 流掛釉俵壺 肥後・小代窯  
17～18世紀



138 色絵金彩鳳凰文瓶 薩摩・磯・仙巖窯  
19世紀末

**(4) 現代の九州陶芸 (第2展示室)**

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また商品性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動を続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂で紹介したのが第2展示室の「現代の九州陶芸」です。

現在、九州6県の115名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、次いで福岡県、鹿児島県の順となります。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。最後に水指・茶入など茶道具関連の作品を鑑賞できます。なお、芸術院会員や重要無形文化財保持者の作品は展示ホール(有田焼からくりオルゴール時計横)に展示しています。また、寄贈いただいた青木龍山作品を毎月5~6点ずつ展示ホールに展示しています。

伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

会期 平成24年12月~平成25年9月

(会期中企画展等のため一時的に撤収される場合がある)

**<所属別構成>**

日本工芸会	69名
日展系	36名
民陶系	3名
無所属	7名
計	115名

**<県別構成>**

佐賀県	68名
福岡県	26名
鹿児島県	10名
長崎県	6名
熊本県	4名
大分県	1名
計	115名

常設展 現代の九州陶芸 展示目録 2012.12~2013.9 展示総数 115件 128

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
1	青木龍山	佐賀	韻	平成13年(2001)	館蔵	日展
2	14代 酒井田柿右衛門	佐賀	濁手撫子文大皿	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会
3	井上萬二	佐賀	白磁花形花器	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会
4	中島宏	佐賀	青瓷彫文壺	平成5年(1993)	第40回 日本伝統工芸展 館蔵	日本工芸会
5	中里逢庵	佐賀	叩き唐津象嵌文壺「玄海」	平成7年(1995)	第27回 日展 館蔵	日展
6	荒木幹二郎	鹿児島	苗代川葉文壺	平成21年(2009)	第44回 西部伝統工芸展	日本工芸会
7	尾前喜八郎	鹿児島	彩色壺	平成23年(2011)	第58回 鹿児島県美展出品作	日本工芸会
8	永吉一	鹿児島	花文角鉢	平成22年(2010)	第65回 南日美術展	日本工芸会
9	竹之内彬裕	鹿児島	抜絵ほおずき文銀彩蓋物	平成22年(2010)		日本工芸会
10	福吉浩一	熊本	炭化線象嵌面取花器	平成21年(2009)	第56回 日本伝統工芸展	日本工芸会
11	犬童又郎	熊本	天目線文壺	平成20年(2008)		日本工芸会
12	久保田烈工	熊本	青白磁流線文扁壺	平成2年(1990)	第87回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
13	熊谷善光	福岡	白線文長壺	平成24年(2012)		日本工芸会
14	熊谷光修	福岡	鉄釉壺	平成22年(2010)		日本工芸会
15	大村就康	福岡	春風駘蕩	平成21年(2009)	福岡県立美術館個展	日本工芸会
16	甲斐一	福岡	刷毛目搔落草文深鉢	平成21年(2009)	第56回 日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
17	吉田浩通	福岡	天目釉組鉢	平成20年(2008)	第43回 西部伝統工芸展	日本工芸会
18	添田和信	福岡	灰釉刷毛目鉢	平成22年(2010)		日本工芸会
19	石原祥嗣	福岡	黒地金彩直弧文陶箱	平成21年(2009)	第106回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
20	佐々木厚	福岡	象嵌花器	平成24年(2012)		日本工芸会

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
21	太田秀隆	福岡	黍灰釉飛鉋掛分組鉢	平成24年(2012)	第59回 日本伝統工芸展出品作姉妹品	日本工芸会
22	井上康徳	佐賀	白磁青釉刻文三角形花器	平成22年(2010)	第45回 西部伝統工芸展	日本工芸会
23	14代 今泉今右衛門	佐賀	色絵藍色墨はじき雪文花瓶	平成16年(2004)	館蔵	日本工芸会
24	江口勝美	佐賀	和紙染刳抜更紗軸筒	平成9年(1997)	館蔵	日本工芸会
25	江口康成	佐賀	和紙染魚文陶箱	平成17年(2005)	第55回 佐賀県展	日本工芸会
26	勝田文博	佐賀	和紙染忍冬文花器	平成17年(2005)	第52回 日本伝統工芸展	日本工芸会
27	松尾潤	佐賀	塩窯彩花器	平成21年(2009)		日本工芸会
28	金子認	佐賀	叩き朝鮮唐津壺	平成24年(2012)		日本工芸会
29	川崎精一	佐賀	青白磁彫菖蒲紋深鉢	平成23年(2011)		日本工芸会
30	梶原茂正	佐賀	粉青輪花深鉢	平成22年(2010)	第45回 西部伝統工芸展	日本工芸会
31	小笠原長春	佐賀	鍋島青磁花紋鉢	平成13年(2001)		日本工芸会
32	熊本義泰	佐賀	青磁麦文鉢	平成22年(2010)	第46回 西部伝統工芸展	日本工芸会
33	山口文彦	佐賀	青白磁線文鉢	平成16年(2004)	第51回 日本伝統工芸展	日本工芸会
34	中尾英純	佐賀	和紙染菱文壺	平成24年(2012)		日本工芸会
35	中尾龍純	佐賀	染付色小文壺	平成22年(2010)		日本工芸会
36	中尾恭純	佐賀	四方襷文彩色象嵌面取花生	平成20年(2008)	第105回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
37	中村清吾	佐賀	白磁壺	平成22年(2010)		日本工芸会
38	奥川俊右衛門	佐賀	白磁花瓶	平成22年(2010)		日本工芸会
39	矢鋪與左衛門	佐賀	青白磁深鉢	平成21年(2009)		日本工芸会
40	西山正	佐賀	青白磁千段深鉢	平成7年(1995)	第92回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
41	山口幹彦	佐賀	白磁斜線文壺	平成13年(2001)	第49回 日本伝統工芸展	日本工芸会
42	松尾勝也	佐賀	艶釉彩深鉢「想」	平成16年(2004)	第51回 日本伝統工芸展	日本工芸会
43	高森誠司	佐賀	釉彩線文鉢	平成22年(2010)	第57回 日本伝統工芸展	日本工芸会
44	庄村健	佐賀	紅染深鉢	昭和63年(1988)	第85回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
45	西山宗元	佐賀	ナムライト天目釉彩更紗文壺	平成19年(2007)		日本工芸会
46	河口純一	佐賀	釉裏彩華文花器	平成17年(2005)	第52回 伝統工芸展	日本工芸会
47	坂本義弘	佐賀	布染葉文鉢	平成21年(2009)	第56回 日本伝統工芸展	日本工芸会
48	納所正一	佐賀	白磁花入	平成17年(2005)		日本工芸会
49	野中拓	佐賀	天目花紋深鉢	平成22年(2010)		日本工芸会
50	小野隆治	佐賀	釉裏紅釉象嵌鉢	平成22年(2010)	第57回 日本伝統工芸展	日本工芸会
51	宮崎祐輔	佐賀	銀彩紅錦長皿	平成22年(2010)	第57回 日本伝統工芸展	日本工芸会
52	斉藤勉作	大分	黝木の葉蓋付壺	平成23年(2011)		日本工芸会
53	江口秀山	長崎	瑤彩壺	平成4年(1992)		日本工芸会
54	山口春利	長崎	白磁掛分扁壺	平成10年(1998)	第5回 国際陶磁器展美濃'98入選作	日本工芸会
55	立井清人	長崎	埋め込み大鉢	平成18年(2006)	第104回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
56	長野恵之輔	長崎	線彫魚紋大鉢「豊饒」	平成20年(2008)		日本工芸会
57	有山長佑	鹿児島	足付盤「春雪」	平成23年(2011)	第33回 日本新工芸展	日展
58	有山禮石	鹿児島	春	平成21年(2009)	第37回 鹿児島陶芸招待出品	日展

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
59	厚東孝治	鹿児島	弥生一秋稟	平成23年(2011)	第43回 日展	日展
60	高田さとこ	鹿児島	暉映一10・A	平成22年(2010)	第49回 日本現代工芸美術展	日展
61	久保満義	鹿児島	羽化'11・I	平成23年(2011)	第50回記念現代工芸美術展	日展
62	中森久明	福岡	氷壁	平成19年(2007)	第46回 日本現代工芸美術展	日展
63	雷山陶秀	福岡	砦	平成23年(2011)	第66回 福岡県美術展	日展
64	世良彰彦	福岡	彩華「廻韻」	平成21年(2009)	第20回 日本陶芸展入選作	日展
65	寺崎康子	佐賀	飛翔	平成23年(2011)		日展
66	青木清高	佐賀	海たゆたう・II	平成5年(1993)	第32回 日本現代工芸美術展	日展
67	辻聡彦	佐賀	「波立つ」	平成14年(2002)	第99回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日展
68	馬場九洲夫	佐賀	湖畔	平成21年(2009)	第41回 日展	日展
69	松本幹治郎	佐賀	春紋	平成22年(2010)	第42回 日展	日展
70	今村博	佐賀	流彩	平成21年(2009)	第49回 現代工芸展	日展
71	吉田勝彦	佐賀	波想-09	平成21年(2009)	第41回 日展	日展
72	松尾博之	佐賀	流動	平成20年(2008)		日展
73	大宅利秋	佐賀	流母	平成23年(2011)	第43回 日展	日展
74	熊本千治	佐賀	蒼刻彩器「悠」	平成21年(2009)	第19回 日工会展	日展
75	大橋裕	佐賀	絵唐津梅花文重筥	平成22年(2010)		日展
76	藤ノ木土平	佐賀	青唐津おもちゃ箱	平成23年(2011)		日展
77	貞松善次	佐賀	陽炎	平成23年(2011)		日展
78	照井一玄	佐賀	紅条文壺抱	平成20年(2008)		日展
79	宮尾正隆	佐賀	草原	平成21年(2009)	第41回 日展	日展
80	福島清海	佐賀	連山	平成22年(2010)	第32回 日本新工芸展九州展 読売新聞西部本社賞	日展
81	富村繁雄	佐賀	回生	平成22年(2010)	第42回 日展	日展
82	浦郷好文	佐賀	面取り花器「蒼風」	平成24年(2012)	第29回 西日本陶芸美術展	日展
83	前田泰昭	佐賀	2008-曙光	平成20年(2008)	第40回 日展	日展
84	白武初芳	佐賀	陽春	平成17年(2005)	第27回 日本新工芸展	日展
85	田中忍	佐賀	白い夏一VIII	平成22年(2010)	第107回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日展



8 佐々木厚(福岡) 象嵌花器  
平成24年(2012)



63 雷山陶秀(福岡) 砦  
平成23年(2011) 第66回 福岡県美術展

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
86	石橋國男	佐賀	膨兆	平成15年(2003)	第25回 日本新工芸展	日展
87	藤井剛	佐賀	雪壁	平成7年(1995)	第34回 日本現代工芸展	日展
88	中島康夫	佐賀	2010-鳥	平成22年(2010)	第32回 日本新工芸展	日展
89	高木清次	長崎	爽	平成18年(2006)	第38回 日展	日展
90	太田孝宏	福岡	飴釉打掛壺	平成24年(2012)		民陶系
91	梶原藤徳	福岡	窯変花器	平成23年(2011)		民陶系
92	井上泰秋	熊本	萱灰蒔釉掛大皿	平成23年(2011)		民陶系
93	嶋田敏生	佐賀	風紋	昭和59年(1984)	第81回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	無所属
94	井上俊一	福岡	錫白銀彩面取壺	昭和63年(1988)	館蔵	無所属
95	尾之下彰三	鹿児島	花器	平成23年(2011)		無所属
96	徳澤守俊	福岡	焼締朝鮮唐津花器	平成22年(2010)	日本伝統工芸展陶芸部会展	日本工芸会
97	福田忠夫	佐賀	炭化窯変壺	平成22年(2010)		日本工芸会
98	松尾重利	佐賀	方流	平成24年(2012)		無所属
99	百田暁生	佐賀	青白磁水指「水面」	平成24年(2012)		日本工芸会
100	横石臥牛	長崎	刷毛目文水指「潮」	平成22年(2010)		日本工芸会
101	14代 中里太郎右衛門	佐賀	唐津白地黒搔落し偏壺	平成23年(2011)		日本工芸会
102	中里重利	佐賀	唐津井戸茶盃	平成16年(2004)		日展
103	2代 松本佩山	佐賀	耀変天目茶盃	昭和42年(1967)		日本工芸会
104	溝上藻風	佐賀	唐津粉引茶盃	平成23年(2011)		無所属
105	高鶴淳一	福岡	粉引窯変茶碗	平成21年(2009)		日本工芸会
106	亀井楽山	福岡	高取七宝耳付千段巻水指	平成23年(2011)		日本工芸会
107	亀井又生庵	福岡	高取千段巻水指	平成24年(2012)	福岡県美術展正会員展	日本工芸会
108	13代 高取八山	福岡	高取耳付茶入	平成23年(2011)		日本工芸会
109	熊谷無造	福岡	絵上野共蓋水指	平成21年(2009)		日本工芸会
110	熊谷保興	福岡	上野天目釉茶碗	平成21年(2009)		日本工芸会
111	熊谷光甫	福岡	鉄釉耳付茶入	平成21年(2009)		日本工芸会
112	鶴我淳二郎	福岡	木の葉天目茶碗	平成22年(2010)		日本工芸会
113	渡久兵衛	福岡	上野鉄釉櫛目文水指	平成21年(2009)	第56回 日本伝統工芸展	日本工芸会
114	高鶴元	福岡	梟の城	平成23年(2011)		無所属
115	岩田義實	佐賀	思いつめた単純さ	平成21年(2009)		無所属



106 亀井 楽山 (福岡) 高取七宝耳付千段巻水指  
平成24年(2012) 第66回 福岡県美術展



114 高鶴 元 (福岡) 梟の城  
平成23年(2011)

## 2. 企画展・テーマ展など

### (1) 第109回九州山口陶磁展

#### (第1部美術工芸品・オブジェの部)

#### 趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に九州山口地方の陶磁器製品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り伝統工芸の継承と産業の発展を期して、この陶磁展を開催します。

<開催要項より>

年に一度の陶芸公募展で、100回をはるかに超えるものは、皆無であろう。その伝統に敬意を表したい。私は、その歴史ある公募展の初めての審査に臨み、やはり出品作品を前にして、伝統のもつ強みを実感した。

結果から言えば、入選作品が100点に達しないという、かなりの厳選となった。この展覧会は、大きさ制限がある公募展としては、かなり大きな作品を認める展覧会である。そのため、大きさを求めるあまり、その形や装飾が期待しない、大きすぎる作品が目についた。私は、形や装飾はおのずから、しかるべき大きさを期待すると考えている。とくに器系の造形はその傾向が強い。したがって、大きすぎてもおかしいし、もちろん小さすぎても駄目である。この展覧会では制限が比較的大きいため、大きすぎる作品が目についたのである。とくに器系の出品作品では、それが気になった。もちろん、どの公募展でも見かける、もう少し大きければという作品もあった。

文部科学大臣賞の神田和弘「集い」は、この展覧会では珍しくオブジェ系の作品である。しっかりした造形力と、抜群のテクニックを評価したい。佐賀県知事賞の山口淀「墨彩壺」は、きちっとした直線的な形に、黒から白へのグラデーションで直線文様を構成したもので、昨年の文部科学大臣賞に続いての受賞である。審査員の中には、今年作品を上だとする意見もあった。有田町長賞の沢田一葉「風の方へ」は、日本の陶芸では珍しい、いわゆるトルソ（人の上半身）をモチーフとし、動きを感じさせるしゃれた作品に仕上げた。これら3点は、いずれの作品も、しっかりした技術と、熟成したテーマで、作品としての完成度はかなり高く、伝統ある展覧会の受賞作品として恥ずかしくないものといえるだろう。

<審査長 榎本 徹氏 審査評より抜粋>



第一席文部科学大臣賞 「集い」  
神田 和弘

会 期 平成 24年 4月 29日～5月 10日(12日間)

会 場 第1・第2展示室

主 催 佐賀県・有田町・有田商工会議所

出品概要 入選 92点 (うち入賞 14点)

招待出品 6点 (第1部)

展示解説 4月 29日 (金) 14:00～15:00

学芸課主幹 宇治章

展示目録 A4版 24ページ カラー図版 33点

入館者 6,372人 1日平均 531人

審 査 員 (第1部)

榎本 徹 岐阜県現代陶芸美術館長

中田 一 於 日本工芸会理事

加藤 令吉 日展評議員

#### 第1部美術工芸品・オブジェの部 〈出品概要〉

( ) は昨年度分

県名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山口県	17(19)	20(21)	7(16)	3(3)
福岡県	23(28)	25(31)	17(12)	2(1)
佐賀県	83(77)	87(82)	48(58)	5(8)
長崎県	10(11)	10(11)	6(8)	1(2)
熊本県	7(3)	8(3)	5(1)	2(0)
大分県	1(2)	1(2)	1(2)	0(0)
宮崎県	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
鹿児島県	6(3)	6(4)	3(2)	1(0)
沖縄県	4(4)	4(4)	3(1)	0(0)
計	153(147)	163(158)	92(100)	14(14)



展示解説



展示風景（第一展示室）



展示風景（第二展示室）

<入賞者名簿>

賞	入賞作品名	氏名	住所
文部科学大臣賞	集い	神田 和弘	鹿児島県出水市
2位・佐賀県知事賞	墨彩壺	山口 淀	長崎県北松浦郡佐々町
3位・有田町長賞	風の方へ	沢田 一葉	熊本県熊本市
佐賀県陶芸協会賞	青瓷鉢	津金 日人夢	熊本県上益城郡御船町
朝日新聞社賞	時を紡ぐ	中村 伸子	福岡県糟屋郡宇美町
サガテレビ賞	白磁扁鉢	中村 清吾	佐賀県西松浦郡有田町
熊本放送賞	淡青釉鉢	岡田 泰	山口県萩市
佐賀県商工会議所連合会賞	彩華幽邃	世良 彰彦	福岡県田川郡福知町
佐賀新聞社賞	Zi	天田 毅	佐賀県武雄市
陶業時報社賞	(連作) 嘆きの壁	嶋田 敏生	佐賀県西松浦郡有田町
西日本新聞社賞	紅染大鉢「燦々」	庄村 健	佐賀県西松浦郡有田町
日刊工業新聞社賞	萩掛分窯変花器	西林 美奈子	山口県山口市
日本経済新聞社賞	萩化粧呉須線刻条文鉢	上田 敦之	山口県防府市
読売新聞社賞	和紙染鉢	中村 忍美こ	佐賀県西松浦郡有田町

<招待作品>（審査員・重要無形文化財）

作品名	出品者名	住所
墨地紫苑釉裏銀彩撫子文四方皿	中田 一 於	石川県小松市
煌彩方壺	加藤 令吉	愛知県瀬戸市
青白磁牡丹彫文花瓶花器	井上 萬二	佐賀県有田町
色絵薄墨墨はじき風船葛文鉢	今右衛門窯代表 今泉 今右衛門	佐賀県有田町
濁手苺文鉢	酒井田 柿右衛門	佐賀県有田町
青瓷彫文壺	中島 宏	佐賀県武雄市

## (2) 新収蔵品展 I 寄贈記念 「澤田痴陶人の世界」

### 趣 旨

陶芸家澤田痴陶人（さわだ ちとうじん 1902-1977）は、最初は日本画家を志し、後に陶磁デザイナー、陶芸家として岐阜、佐賀、長崎で活躍した陶芸家です。

没後 20 年を経た 1997 年（平成 9 年）に、ロンドンの大英博物館で日本陶芸家として初めて個展が開催され、「陶芸の棟方（志功）」、「20 世紀陶芸家における優れた作家の一人」などと最高の評価を受け、その名が国内外に広く知られるようになりました。

昨年度、これまで遺族のもとに保管されていた氏の遺作や関連資料が九州陶磁文化館へ寄贈されました。

今回の展覧会は、それらの寄贈を受けた氏の陶磁器作品や絵画、スケッチなどの関連資料を「新収蔵品展 I 寄贈記念 澤田痴陶人の世界」と銘打って初展示します。

<広報用資料より>



展示風景（第一展示室）



展示風景（第二展示室）

会 期	平成 24 年 5 月 19 日～6 月 17 日（26 日間）
会 場	第 1・第 2 展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	澤田痴陶人の陶磁器作品や絵画、スケッチ、 道具、書簡などの関連資料 1. 痴陶人、ふたたび 2. 岐阜から佐賀へー澤田米三から痴陶人へー 3. 人間痴陶人ー関連資料 計 444 件 564 点
展示解説	5 月 26 日（土）14：00～15：00 学芸課長 家田淳一
入 館 者	3,688 人 1 日平均 142 人

## (3) 第 30 回 新工芸西九州工芸展

### 趣 旨

日本新工芸西九州会は、未来を明示できる新しい工芸の造形美を追求して参りました。

各々の素材を生かし、技術を駆使した個性の表現を求め、日々努力を重ねています。

このたびも皆様の暖かいご支援のお蔭をもちまして第 30 回展として開催する運びとなりました。「美と生活の調和」をテーマに技と心を注ぎ込み、更なる飛躍を目指した作品を展示いたしております。

多くのかたがたのご批判をあおぎ、新しい工芸家の育成につとめ、地方文化の一助になれば幸いです。

ぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

<日本新工芸西九州会 会長 白武初芳氏 あいさつより >

第 30 回目の節目を迎え、青葉が萌える日に九州陶磁文化館館長をはじめ 4 名の丁寧な鑑審査が行われた。今回は記念展として新人賞を設け、陶磁器を中心に染色、人形、漆など変化に富んだ充実した展示になった。公募作においては、荒削りながら斬新な感覚が目された。大賞の「夢」は、作者の思いを形象化した未来を追い求める爽やかな姿が表現され、バランスよく気品の高い作品に仕上がっている。

<審査委員長 前田泰昭氏 作品講評より>

会 期	平成 24 年 6 月 27 日～7 月 8 日（11 日間）
会 場	第 1 展示室
主 催	日本新工芸西九州会
共 催	佐賀県立九州陶磁文化館
後 援	佐賀県・佐賀県企業メセナ協議会
出品概要	37 点 (陶器 13 点 磁器 12 点 染色 7 点 人形 4 点 漆 1 点)
出品目録	B5 版 4 ページ
入 館 者	1,082 人 1 日平均 98 人
審 査 員	前田泰昭 日展評議員・日本新工芸家連盟副会長 小川泰彦 日展会員・日本新工芸家連盟顧問 高木清次 日展会友・日本新工芸家連盟監事 鈴田由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館長



大賞（九州新工芸会長賞） 「夢」  
米原 佐代子



展示風景

賞	入賞作品名	氏名	住所
大賞（九州新工芸会長賞）	（人形） 夢	米原 佐代子	大村市
佐賀県知事賞	（陶器） 韻（ひびき）	猪立山 正史	福岡市
佐賀県立九州陶磁文化館長賞	（陶器） 暮れゆく嶺	山本 律夫	佐賀市
〃	（陶器） 陶彫「鳥」	吉澤 秀幸	大村市
〃	（染色） 勾玉の空に	渡邊 成樹	武雄市
西九州工芸展新人賞	（人形） 目覚め	古川 祥子	長崎市
奨励賞	（陶器） 五月雨	百武 宣人	熊本市
〃	（染色） 群生Ⅱ	深田 恵理	佐賀市
〃	（人形） 童遊	山田 津由子	波佐見町
〃	（陶器） 碧の風	山口 龍矢	武雄市

#### （4）新収蔵品展Ⅱ

##### 趣 旨

平成 23 年度に寄贈を受け、新たに館蔵品となった陶磁器作品 266 件（344 点）を展示します。

特に今回は、唐津焼「緑釉流掛楯刷毛目文鉢（二彩手）」や古伊万里様式「色絵七宝梅椿文蓋付鉢」などの肥前の陶磁器、薩摩焼「褐釉四耳壺」や壺屋焼「焼締壺（荒焼）」などの九州の陶磁器のほか、明治の有田焼「染付牡丹屏風文大皿」や信楽焼「褐釉黒釉流四耳壺」、中国・漳州窯「染付唐草文碗」などさまざまな陶磁器が楽しめます。

また、前田泰昭氏（1937～）の「2006－輝く朝」や小野次郎氏（1953～2010）の「釉裏金銀彩壺」などの現代作家による作品もご紹介します。

<広報用資料より>

会 期 平成 24 年 6 月 23 日～7 月 16 日（21 日間）

会 場 第 2 展示室

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 肥前・唐津焼の陶器

肥前・古伊万里様式の磁器

九州の陶磁（長崎・福岡・熊本・鹿児島・沖縄）

明治以降の陶磁器（佐賀）

九州以外の陶磁器（近世・近代）

中国・朝鮮・アジアなどの陶磁器

現代作家作品

計 266 件 344 点

展示解説 6 月 30 日（土）14：00～15：00

学芸課主幹 宇治章

入 館 者 2,572 人 1 日平均 122 人



展示風景



展示風景

## (5) 第21回 陶千坊展

### 趣 旨

陶千坊展とは、「陶芸家の皆様が、子どものように純真・純粋な心で焼き物を制作する仲間として集い、自由でかつ達な運営により相乗的な技術向上と発展を目指す」を趣旨として開催される陶芸展です。

第21回となる今回は、19名の陶芸家が自慢の新作を披露します。

<広報用資料より>



展示風景

会 期 平成 24 年 7 月 10 日～7 月 16 日 (7 日間)  
会 場 第 1 展示室  
主 催 陶千坊  
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館  
展示内容 陶芸作品全般 (オブジェ、器、陶人形等)  
19 人 528 点を展示  
入 館 者 1,113 人 1 日平均 159 人



展示風景

## (6) 第26回 現代工芸美術九州会展

### 趣 旨

現代工芸美術家協会九州会が新たに発足してから、早くも第26回展を開催する事が出来ました。これも偏に、皆様の変らぬ暖かいご支援とご厚情の賜と、我々一同深く感謝致しております。

第1回展より九州会の会員・会友はもとより、九州一円より様々な材質の工芸作品を公募し、新たな作家の登竜門の場としても、工芸美術展を催してまいりましたが、会の目的である工芸における新しい創作活動を根幹にした作家の資質の向上を図るべく日々研鑽をつむことにより、あわせて地方文化の発展に多少とも貢献できたものと思っております。

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害があり、我々作品を生み出す工芸家は皆、今、自分に何が出来るかを考えました。

今回の公募の中にも新鮮な試みによる力に満ちあふれた数々の作品が出品され、会員・会友と共に確実な精神的進展もみられます。

この第26回展を期に一層研鑽していきたいと存じます。ご高覧の上御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

<現代工芸美術家協会九州会 会長 青木清高氏 あいさつより>

会 期 平成 24 年 7 月 22 日～7 月 29 日 (7 日間)  
会 場 第 1 展示室  
主 催 現代工芸美術家協会九州会  
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館  
後 援 佐賀県・福岡県・鹿児島県・長崎県・熊本県  
宮崎県・大分県・沖縄県 有田町  
出品概要 68 点 (陶磁、染織、人形、七宝、紙、ガラス、  
金属、布)  
出品目録 B5 版 4 ページ  
入 館 者 1,074 人 1 日平均 153 人



青木龍山賞 「山景」  
馬 場 九洲夫

## 受賞者

賞	氏名	題名	住所
青木龍山賞	馬場九洲夫	山景	佐賀県
現代工芸美術家協会九州会会長賞	窪田廣子	心の杉	宮崎県
佐賀県知事賞	藤家博美	海面に浮かぶ	佐賀県
福岡県知事賞	藤田晃一	乱舞	福岡県
鹿児島県知事賞	南加	山なみ 12-III	鹿児島県
長崎県知事賞	松尾修介	響奏	長崎県
熊本県賞	中川由紀子	潮紋	熊本県
宮崎県知事賞	高鶴享一	緑碧	福岡県
大分県知事賞	芳賀信幸	深き海より	大分県
沖縄県知事賞	今村肇	風・深き	佐賀県
佐賀県立九州陶磁文化館長賞	秋永尚子	形象	熊本県
有田町長賞	上田耕一	新美・泰山	福岡県

## (7) テーマ展 夏休み やきもの水族館

### 趣旨

魚、貝、海老、蟹など川に棲む水の中の生きものは、やきものの形や文様として古くから描かれてきました。

江戸時代の有田焼（古伊万里）では、染付や色絵などの多彩な装飾技法で水の中の生きものが描かれ、特に海老や滝を登る鯉など、おめでたい意味が込められたデザインが人気でした。

近現代には、陶芸家たちによる、より芸術的な創作活動のなかで、伝統的な文様から解き放たれた新しい表現によって水の中の生きものが描かれるようになりました。

今回の展覧会では、古伊万里から現代陶芸の作品まで、水の中の生きものが表現された多くの陶磁器を展示します。

〈広報用資料より〉



展示風景



展示風景

会期 平成 24 年 8 月 4 日～9 月 2 日（26 日間）

会場 第 1 展示室

主催 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 魚、貝、海老、蟹など、水族館を思わせるような水の中の生き物を文様や形として描いた江戸時代から現代までの陶磁器を展示。

- 1.鯉の滝登り—鯉が龍に変身!!—
  - 2.ギョぎょ魚!—たくさんのさかな—
  - 3.いろいろな貝—アワビやサザエやハマグリや—
  - 4.エビ・カニのなかま—甲殻機動隊—
- 計 62 件 124 点

展示解説 8 月 11 日（土）14：00～15：00

学芸課主幹 徳永貞紹

関連行事 ・夏休み子どもイベント

「魚をさがそう! かこう!

ジグソーパズルとマイ風鈴づくりに挑戦!

〈開催日〉8 月 10 日（金）、11 日（土）

両日とも 10：00～11:45

〈参加費〉500 円 〈対象〉小学生

〈募集方法〉事前に電話で参加受付

〈参加者〉10 日:14 名 11 日:19 名

・夏のイベント

「マイ風鈴を作ろう!」

〈開催期間〉7 月 21（土）～8 月 31 日（土）

参加者 97 人

入館者 3,118 人 1 日平均 120 人



子どもイベント

## (8) 第11回 伊万里・有田焼伝統工芸士展

### 趣 旨

伝統工芸士とは、経済産業大臣認定の資格制度で、伝統工芸品製作の認定試験に合格した技術者のことです。伊万里・有田焼は経済産業大臣によって伝統的工芸品として指定されており、現在、「ろくろ部門」、「下絵付け部門」、「上絵付け部門」で、合わせて約90名の伝統工芸士が活躍されています。

当展は、伊万里・有田焼の製作にかかわる伝統工芸士の方々の作品を一堂に展示し、その優れた技術と活動を紹介いたします。

<広報用資料より>



展示風景

会 期 平成 24 年 9 月 8 日～9 月 23 日 (14 日間)  
会 場 第 1 展示室  
主 催 伊万里・有田焼伝統工芸士会  
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館  
後 援 (財) 伝統的工芸品産業振興協会  
佐賀県陶磁器工業協同組合  
出品概要 会員 36 人による作品約 120 点を展示  
入 館 者 2,028 人 1 日平均 145 人



実演風景

## (9) 特別企画展

### 将軍家献上の鍋島・平戸・唐津

#### —精巧なるやきもの—

### 趣 旨

九州陶磁文化館では、徳川将軍家献上に関わる最高のやきもの、鍋島・平戸・唐津を一堂に展示します。

江戸時代、参勤交代とともに、全国の諸藩は国元の産物を将軍家に献上する例年献上が義務付けられました。将軍家には全国から様々な産物が献上されましたが、その中で陶磁器を献上したのは六藩程度で、うち三藩を全国随一のやきもの先進地域であった肥前地方の鍋島藩・平戸藩・唐津藩の唐津焼が占めました。全国のやきものの生産地のなかでもトップレベルの技術を誇り、最高権力者が求める陶磁器を採算度外視で作ったのが肥前地方です。

その理由と製品の魅力を、全国から集めた名品や新資料、そして最新の研究成果で紹介いたします。

<広報用資料より>



開会式

会 期 平成 24 年 10 月 6 日～11 月 25 日 (51 日間)  
会 場 第 1・第 2・第 3 展示室  
主 催 佐賀県立九州陶磁文化館  
観 覧 料 大人 600(500)円、大学生 300(200)円  
\*会期中全館有料、( )内は 20 名以上の団体料金  
出品概要 I 鍋島—最高権力者の食器の特徴と変遷  
(1) 将軍の器、景德鎮から鍋島焼へ  
(2) 鍋島焼初期  
(3) 鍋島焼盛期  
(4) 鍋島焼中期  
(5) 鍋島焼後期  
II 平戸—平戸焼の誕生と発展  
(1) 平戸焼前期  
(2) 平戸焼中期  
(3) 平戸焼後期  
III 唐津—唐津藩の茶碗献上  
計 227 件 535 点  
記念講演 10 月 20 日 (土) 13:30～15:00  
演題: 将軍家献上の鍋島・平戸・唐津とは  
講師: 大橋康二 (九州陶磁文化館 特別学芸顧問)  
展示解説 10 月 6 日 (土) より毎週土曜日  
14:00～15:00  
(10 月 20 日のみ 15:30～16:30)



展示風景



展示風景



碗琴コンサート



テーブルコーディネートショー

**関連催事** ・碗琴コンサート  
 10月20日(土) 12:30~13:15  
 ・記念茶会  
 10月27日(土) 13:00~15:00  
 裏千家 南宗紅社中 南圭子氏  
 11月17日(土) 13:00~15:00  
 煎茶道 売茶流 益田寿仙窟社中 益田寿美子氏  
 ・献上のテーブルコーディネート  
 11月4日(日) 13:30~15:30  
 食空間プロデューサー 丸山洋子氏

**協力催事** ・茶花~器と花の出会い展~  
 10月10日(水) 9:00~17:00  
 淡斎茶花研究会 代表 横井和子氏

**入館者** 9,677人 1日平均190人  
**展示図録** A4版・242ページ 価格2,000円  
 全出品作品をカラー掲載(作品解説付)



展示解説



講演会



テーブルコーディネート



茶会（裏千家）風景



茶花～器と花の出会い展～風景

## (10) 新春展 「花の器」

### 趣 旨

生花は、仏教における供花から出たものですが、室町時代には供花は立花と呼ばれ、宗教的な意図から離れて観賞的な意味が加えられ、座敷飾りの中で花瓶に羅木花を立てるようになりました。その後、桃山時代に茶道が隆盛すると、備前、信楽、伊賀などで優れた花生が焼かれましたが、江戸時代に花（華）道が形成されると、花そのものに関心が寄せられ、花の器は形式化してしまったため、花の器を主役として扱ったのは花道ではなく、むしろ茶道でした。

また一方、江戸時代は園芸が盛んになり、いくつもの園芸書が出版され、植木市が盛んに行われました。そして18世紀後半頃からは、陶磁器製の専用の植木鉢が盛んに作られるようになりました。

今回の展覧会では、唐津焼や伊万里焼など江戸時代の陶磁器を中心に、花生、花入、花瓶など花を生けるための花器及び、鉢植えのため盆栽鉢や植木鉢など、多彩な花の器をご紹介します。

< 広報用資料より >

会 期 平成 24 年 12 月 14 日～平成 25 年 1 月 14 日  
(27 日間)

会 場 第 1 展示室  
主 催 佐賀県立九州陶磁文化館  
展示内容 立花、生花、抛入花などのための花の器  
(花入、花生、花瓶等)  
盆栽、鉢植えなどのための花の器  
(盆栽鉢、花盆、植木鉢等)

計 64 件 64 点

展示解説 平成 25 年 1 月 5 日 (土) 14:00～15:00

学芸課主幹 宇治章

入 館 者 2,070 人 1 日平均 77 人



展示風景



展示風景

(生け花:草月流一級師範 匹田草耀)



展示解説

## (11) 第 44 回 有田工業高等学校卒業制作展

### 趣 旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

作品は若者の特権である柔軟な発想、鋭い感性をもって、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。内容につきましてはまだまだのところがあると思いますが、ご指導、ご鞭撻を賜りたいと存じます。

この作品展は、44年前デザイン科のみでスタートしましたが、平成元年よりセラミック科が加わり年ごとに充実し、西暦2000年には創立100周年を機に本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催することになりました。

そして、今年度は創立112年にあたり、今後も「ものづくり」の有工、「ものづくり魂」を育む有工の更なる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

<開催要項より>



展示風景 (第1展示室)



展示風景 (研修室 1)

会 期 平成 25 年 1 月 22 日～1 月 27 日 (6 日間)  
会 場 第 1 展示室および展示ホール  
エントランスホール・会議室  
主 催 佐賀県立有田工業高等学校  
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館  
出品概要 生徒 222 名による作品約 500 点  
展示内容 全日制・定時制・聴講生全学科の卒業生が  
課題研究で取り組んだ作品を中心に展示

### 課題研究発表会

【デザイン科】 1 月 24 日 9 : 30～15 : 00

【セラミック科】 1 月 25 日 9 : 30～13 : 00

対象: 全校生、一般

場所: 九州陶磁文化館講堂

入 館 者 2,736 人 1 日平均 456 人

## (12) 第 31 回 西松浦郡小・中学校学童美術展

### 趣 旨

本美術展を通して、子どもたちの造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。

保護者および地域住民の皆様には、児童・生徒の学習の成果を公開し、幅広く学校教育および造形教育への理解と協力を願う。

地域の特性を生かした作品を展示することにより、児童・生徒の地域社会への興味を喚起し、伝統文化を継承し、発展させようとする高い志を育む。

<開催要項より>



見学風景

会 期 平成 25 年 1 月 29 日～2 月 3 日 (6 日間)  
会 場 第 1 展示室  
主 催 有田町教育研究会図工・美術部会  
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館、有田町教育委員会  
展示内容 日々の授業の中から生まれた、児童・生徒の  
図工・美術作品全般。

展示作品は、郡や県の審査会で、特に優秀と認められた平面作品と立体作品で、有田町内の小学校 4 校、中学校 2 校から出品された児童・生徒の作品の中から選抜されている。

(絵画、デザイン、線描、立体の 4 部門)

※立体作品は地域の特色から焼き物が中心

作 品 数 平面作品 (県特選、県準特選) 46 点  
立体作品 (県特選、県準特選、郡特選) 188 点  
計 234 点

入 館 者 1,601 人 1 日平均 267 人

### (13) 第3回 究陶会展

#### 趣 旨

究陶会は、九州陶磁文化館主催の陶芸教室の卒業生有志で組織された会です。

今回、その究陶会会員が制作した作品を展示する「第3回究陶会展」を下記のとおり開催します。

過去3回にわたり、陶芸教室OB展として開催しましたが、平成19年4月の「究陶会」発足を契機として、新たに究陶会展として開催しており、平成20年の第1回展から隔年ごとに開催し、今回は第3回展となります。

<広報用資料より>

会 期	平成 25 年 2 月 5 日～2 月 17 日 (13 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	究陶会
共 催	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	茶碗、壺、皿、鉢、花瓶、ランプシェード、オブジェなど約 400 点
入 館 者	1,643 人 1 日平均 126 人



展示風景

### (14) 第27回 有田窯業大学校卒業制作展

#### 趣 旨

学生が真摯に窯業技術の習得に取り組んだ学生生活の集大成である「卒業制作」の作品を展示し、来訪者の意見、アドバイスをいただくことにより、学生の今後の制作活動に役立てることを目的とする。

<開催要項より>



〈優秀賞〉

「le temps merveilleux」

会 期	平成 25 年 2 月 19 日～2 月 24 日 (6 日間)
会 場	第 1 展示室および展示ホール
主 催	佐賀県立有田窯業大学校 第 27 回卒業制作展実行委員会
共 催	佐賀県立九州陶磁文化館
後 援	有田町、財団法人窯業教育振興会
展示内容	学生 35 名による作品約 100 件 300 点 (食器、花器、オブジェ、室内装飾品、有田の 伝統技法による飯碗・皿・湯呑など)
入 館 者	1,467 人 1 日平均 245 人

### (15) 第24回 九州陶磁器デザイナー協会展

#### 趣 旨

九州陶磁器デザイナー協会は、佐賀・長崎にまたがる肥前窯業圏を中心として、陶磁器デザインに関わる企業デザイナー・教育者・窯業技術センター職員等の親睦と研修の集まりです。

その始まりは、昭和26年にまでさかのぼりますが、会としての形式は特に整えず、問題意識のある人達が自由に集まって発言をする場として永く続いてまいりました。陶磁器を通して地域の中に根付き、戦後デザイン運動の九州での母体ともなってきました。

このたび第24回目の協会展を開き、現在の各会員の作品を紹介するとともに、成果を多くの人に観て頂きたいと思います。

<企画主旨より>

会 期	平成 25 年 2 月 26 日～3 月 3 日 (6 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	九州陶磁器デザイナー協会
共 催	佐賀県立九州陶磁文化館
後 援	有田町 波佐見町 佐賀県陶磁器工業協同組合 波佐見陶磁器工業協同組合
出品内容	テーマ：“スイーツ Sweets” 50 名の会員各自による作品約 300 点
入 館 者	1,108 人 1 日平均 185 人



展示風景



展示風景

## (16) 第28回 有田陶交会展

### 趣 旨

有田陶交会は、有田焼の製造に携わる窯元の青年部のグループです。有田焼の特徴である華麗な色彩にスポットをあて、子供に人気の戦隊ヒーローの形式をとって分かりやすく紹介します。子供たちはもちろん、有田焼に興味を持つ一般の方まで広い世代にわたって有田焼の魅力を堪能頂けます。

なお、御来場頂きました方には、恒例の人気投票にも参加いただけます。

<広報用資料より>

**会 期** 平成 25 年 3 月 12 日～3 月 17 日 (6 日間)  
**会 場** 第 1 展示室  
**主 催** 有田陶交会  
**共 催** 佐賀県立九州陶磁文化館  
**後 援** 肥前陶磁器商工協同組合  
 佐賀県陶磁器工業協同組合  
**出品概要** 有田陶交会加盟の 12 の窯元によって制作発表される作品約 50 点。  
**入 館 者** 1,005 人 1 日平均 168 人



展示風景



展示風景

## (17) 春期茶道具名品選

### 趣 旨

九州陶磁は桃山から江戸時代初期に大きく発展しましたが、その背景にはわび茶の隆盛がありました。豊臣秀吉による文禄および慶長の朝鮮出兵は、別名「やきもの戦争」とも呼ばれ、出兵した九州の諸大名は朝鮮半島から陶工を連れ帰り、自国領内で茶道具をはじめ陶磁器の生産を大いに進めたのでした。

九州諸窯では、江戸中期・後期には日常食器などの生産が中心となり茶陶の比重は小さくなりますが、茶陶生産の伝統は、明治以降も継承され、今日でも多くの陶芸家が茶陶を作り続けています。

今回の展覧会では、館蔵資料を中心に江戸時代の唐津焼、高取焼、薩摩焼の茶碗、茶入、水指など、また、荒川豊蔵、中里無庵といった近現代作家が作った茶道具などの優品を選びすぐってご紹介します。

<広報用資料より>

**会 期** 平成 25 年 3 月 19 日～4 月 7 日 (18 日間)  
**会 場** 第 1 展示室  
**主 催** 佐賀県立九州陶磁文化館  
**展示内容** 茶碗、茶入、水指などの茶道具類  
 計 20 件 20 点  
**入 館 者** 2,642 人 1 日平均 147 人



展示風景

### 3. 利用状況

#### ◎月毎の入館者数

月	開館日数	入館者数
4月	26	5,664
5月	28	6,268
6月	26	3,174
7月	27	3,336
8月	27	3,141
9月	27	3,455
10月	30	5,205

月	開館日数	入館者数
11月	29	5,235
12月	25	1,983
1月	28	4,995
2月	25	4,376
3月	27	4,181
合計	325	51,013
平均	27	4,251

#### ◎展覧会別の入館者数（開催順）

No.	展 覧 会 名		会 期	入館者数
1	第109回 九州山口陶磁展		4/29～5/10	6,372
2	新収蔵品展Ⅰ 寄贈記念 澤田痴陶人の世界	主催	5/19～6/17	3,688
3	第30回 新工芸西九州工芸展		6/27～7/8	1,082
4	新収蔵品展Ⅱ	主催	6/23～7/16	2,572
5	第21回 陶千坊展		7/10～7/16	1,113
6	第26回 現代工芸美術九州会展		7/22～7/29	1,074
7	テーマ展 夏休み やきもの水族館	主催	8/4～9/2	3,118
8	第11回 伊万里・有田焼伝統工芸士展		9/8～9/23	2,028
9	特別企画展 将軍家献上の鍋島・平戸・唐津 —精巧なるやきもの—	主催	10/6～11/25	9,677
10	新春展 「花の器」	主催	12/14～1/14	2,070
11	第44回 有田工業高等学校卒業制作展		1/22～1/27	2,736
12	第31回 西松浦郡小・中学校学童美術展		1/29～2/3	1,601
13	第3回 究陶会展		2/5～2/17	1,643
14	第27回 有田窯業大学卒業制作展		2/19～2/24	1,467
15	第24回 九州陶磁器デザイナー協会展		2/26～3/3	1,108
16	第28回 有田陶交会展		3/12～3/17	1,005
17	春期茶道具名品選	主催	3/19～3/31(4/7)	1,765(2,642)
	合 計			44,119(44,996)

\*( )内は4/7までの入館者数

#### 4. 館蔵資料の貸出

No.	事業・展覧会	展示期間	貸出先	貸出件数
1	平成 24 年度公立美術館巡回支援事業 「明治・大正時代の日本陶磁—産業と工芸 美術—」出品のため	H24.5.1～ 12.20	(財) 廿日市市文化スポーツ振興事業団・滋賀県陶芸の森・瀬戸市美術館・茨城県陶芸美術館	3 件 18 点 (寄託品含)
2	常設展「猿投・瀬戸:全国古窯陶磁資料展」出品のため	H24.4.1～ H25.3.31	愛知県陶磁資料館	陶片 183 点
3	佐賀県議会議長室に展示のため	H24.4.1～ H25.3.31	佐賀県議会事務局	2 件 2 点
4	佐賀城本丸歴史館御玄関における「県内博物館施設 PR コーナー」展示のため	H24.4.1～ H25.3.31	佐賀城本丸歴史館	3 件 8 点
5	台南市政府文化局特別企画「2012 鄭成功文化節—17 世紀大員港市特展」に展示するため	H24.4.29～ H25.3.15	台南市政府文化局	6 件 10 点
6	常設展示「日本列島と朝鮮半島との交流史」 出品のため	H24.4.1～ H25.3.31	名護屋城博物館	5 件 5 点
7	「生誕 90 周年記念 山下清展」展示のため	H24.9.13～ 10.21	佐賀新聞社	1 件 1 点
8	首都圏営業本部応接室に展示のため	H24.4.1～ H25.3.31	首都圏営業本部	1 件 1 点
9	来賓室に展示のため	H24.4.1～ H25.3.31	佐賀県庁秘書課	1 件 1 点
10	副知事室に展示のため	H24.4.1～ H25.3.31	佐賀県庁秘書課	1 件 1 点
11	「華麗なる美の競演 初期伊万里・柿右衛門・鍋島」展 に出品のため	H24.6.2～ 7.22	愛知県陶磁資料館	113 件 195 点
12	常設展示第 2 期および第 3 期で展示するため	H24.6.5～ 12.16	佐賀県立博物館	20 件 28 点
13	「人間国宝 九州・沖縄の伝統工芸 技と美」展展示のため	H24.8.3～ 9.2	一般財団法人 熊本県伝統工芸館	9 件 9 点
14	『初代松本佩山展—九州陶磁文化館 矢野コレクション より—』に出品のため	H24.8.7～ 10.8	鹿島市民立楽修大学	36 件 53 点
15	平成 24 年度高梁市成羽美術館企画展「色絵磁器の華— ベンガラの魅力をとずねて」展示のため	H24.10.5～ 12.2	高梁市成羽美術館	26 件 61 点
16	九州国立博物館文化交流展示「海の道、アジアの路」(江 戸のモダニズム 古武雄～まぼろしの九州のやきもの ～)に展示のため	H25.3.19～ 5.26	九州国立博物館	55 件 55 点 (寄託品)
17	佐賀県教育長室に展示のため	H24.11.9～ H25.3.31	佐賀県教育庁	1 件 1 点
18	テーマ展示「きものと美人画」展示のため	H24.11.28～ H25.1.20	佐賀県立博物館	3 件 3 点
19	「有田焼復刻コレクション創出事業」に係る資料調査の ため	H24.12.25、 H25.1.17	佐賀県陶磁器工業協同組合	12 件 38 点
20	平成 24 年度特別展「徳川将軍家の器」出品のため	H25.1.19～ 3.3	千代田区教育委員会	19 件 20 点 陶片 14 点 15 件 (寄託品含)
21	常設展示のため	H24.12.18～ H25.3.17	佐賀県立博物館	12 件 20 点
22	玉手箱 6「昔の遊び」展示のため	H25.1.16～ 2.17	佐賀県立美術館	1 件 1 点
23	シンクロトロンによる非破壊高精度蛍光 X 線分析によ って三重津海軍所跡出土磁器と胎土成分を比較し、生産 地の検討を行うため	H25.1.15～ 2.28	佐賀市教育委員会	陶片 20 点
24	常設展第 1 期のため	H25.3.19～ 7.15	佐賀県立博物館	5 件 9 点
平成 24 年度 貸出数		335 件 540 点 陶片点数はのぞく		

#### 5. 資料閲覧・写真撮影・フィルム借用・印刷物等掲載・複製申請処理

平成 24 年 4 月 1 日～25 年 3 月 31 日 128 件 (1,125 点)

※ この他、施設としての写真撮影・フィルム借用・印刷物掲載が 10 件 10 点ありました。

## 教育普及活動

### 1. 展示案内

団体案内は予約制だが、要望に応じて随時対応している。

#### 平成24年度 展示案内実施回数

月	実施回数						人数					
	学芸 (館長・ 顧問)	総務	嘱託			計	学芸 (館長・ 顧問)	総務	嘱託			計
				予約	予約なし					予約	予約なし	
4月	4	0	8	7	1	12	29	0	322	291	31	351
5月	6	0	8	5	3	14	46	0	218	174	44	264
6月	3	0	10	9	1	13	23	0	132	131	1	155
7月	8	0	4	4	0	12	69	0	110	110	0	179
8月	5	0	3	2	1	8	132	0	23	22	1	155
9月	4	0	5	5	0	9	67	0	299	299	0	366
10月	20	0	6	6	0	26	396	0	97	97	0	493
11月	29	0	11	11	0	40	543	0	412	412	0	955
12月	7	0	5	5	0	12	141	0	169	169	0	310
1月	7	0	6	5	1	13	167	0	124	93	31	291
2月	4	0	2	1	1	6	31	0	24	11	13	55
3月	5	0	3	3	0	8	83	0	45	45	0	128
	102	0	71	63	8	173	1,727	0	1,975	1,854	121	3,702

#### 平成24年度 団体観覧

	展示案内		自由観覧		学校行事観覧		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	7	282	7	238	1	40	15	560
5月	5	205	4	92	3	113	12	410
6月	2	80	7	227	0	0	9	307
7月	2	92	8	246	0	0	10	338
8月	4	123	5	106	0	0	9	229
9月	5	147	8	253	3	234	16	634
10月	7	260	8	305	2	105	17	670
11月	10	328	17	442	8	452	35	1,222
12月	6	165	2	64	2	113	10	342
1月	5	216	4	193	12	820	21	1,229
2月	0	0	2	48	6	243	8	291
3月	3	72	10	370	4	258	17	700
計	56	1,970	82	2,584	41	2,378	179	6,932

\*学校行事観覧(団体)は、案内の有無に関らず記載

## 2. 実技講座

### (1) 陶芸教室

#### 趣 旨

佐賀県立九州陶磁文化館では、陶芸に対する理解を深めるために、初心者の方でも、土をこね、形をつくり、焼き上げる体験から、やきものを作るよろこびを味わっていただくことができるように、「土もの(陶器)」の制作を指導する陶芸教室(入門講座)を開催します。

<開催要項より>

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

会 場 ろくろ室・絵付室・窯室

#### 会 期

第 56 期

平成 24 年度の下記の日の 13 時 30 分～16 時 30 分

(1) 5 月 26 日 (土) (2) 6 月 2 日 (土)

(3) 6 月 9 日 (土) (4) 6 月 16 日 (土)

(5) 6 月 23 日 (土) (6) 6 月 30 日 (土)

(7) 7 月 7 日 (土) (8) 7 月 14 日 (土)

(9) 7 月 21 日 (土) (10) 7 月 28 日 (土)

講 師 溝上 雅人 先生 (陶芸家)

応募資格 佐賀県内に住む成人で、作陶の経験のない方  
(初心者)

定 員 18 名 (応募者多数の場合は抽選とする)

応募方法 往復はがきに、住所・氏名・電話番号を明記  
して、5 月 11 日 (金) 必着で申し込む。

受講料 7,000 円 (粘土代その他)

手づくね、あるいはロクロで、皿・鉢・壺・  
瓶などを成形し、素焼き、施釉、焼成するま  
でを指導します。

参加者 19 名



[第 56 期]



陶芸講座風景

### (2) ボランティア養成講座

#### 趣 旨

陶芸教室の受講経験者(OB)の中から陶芸教室の講師を補佐するボランティアを養成するものです。

会 期 第 16 期

陶芸教室の第 56 期と同時開催

参加者 2 名

### (3) OB の活動

#### 【陶芸教室利用規定】

陶芸教室受講終了者で、さらにより高度の陶技を会得し、陶芸文化に対する関心を深めることを希望する人に対して、陶芸実習施設を開放し、自由な創作活動の機会を提供する。

#### ●利用日時

土曜日 午前 9 時～午後 4 時

ただし陶芸教室開催中は受講生の活動をさまたげてはいけません。

日曜日 午前 9 時～午後 4 時

なお、館の行事等の都合により利用を断ることがある。

#### ●注意事項

1. イ 施設利用前に利用者は事務室に届け出、職員が開錠する。  
ロ 利用後は事務室に届け出、職員が施錠する。  
ハ 利用者は利用日誌に記入して提出する。
2. 室内の清掃、道具の整理には留意する。
3. 施設備品以外の消耗品、その他に要する経費は本人が負担する。
4. 備品の使用については十分注意し、破損した場合は、協議のうえ弁償する。
5. 作品の焼成は職員の指示に従う。
6. 上記の注意事項を守らない方については、利用を断る事がある。

### 3. 地域主催イベントとの関連催事

#### 第9回「有田雛のやきものまつり」関連展示

#### 第8回「やきものとひなまつり」

##### 趣 旨

九州陶磁文化館では、今回で8回目となる「やきものとひなまつり」を開催し、会場には「柴田夫妻コレクション」の寄贈者である柴田祐子氏所蔵の貴重な古人形（江戸時代～明治時代）と雛道具、当館所蔵の古陶磁「色絵桜御簾牡丹文大皿」「染付花唐草文銚子」など、華やかな作品約200点を展示します。

さらに、展示期間中は、「ひなまつりぬりえ」展と題し、有田町内の保育園・幼稚園年長児の皆さんが描いた多彩な「ひなまつりぬりえ」を展示するとともに、ご来館のお客様にもご参加いただけるようにしています。

<広報用資料より>



展示風景

**期 間** 平成 25 年 2 月 5 日（火）～3 月 24 日（日）  
**展示場所** 展示ホール、柴田夫妻コレクション展示室内  
**主 催** 佐賀県立九州陶磁文化館  
**展示内容** 柴田祐子氏所蔵の古人形と雛道具及び九州陶磁文化館所蔵の古陶磁（皿、盃など）約 200 点

##### 関連催事

・ひなまつり茶会

3 月 20 日（水）正午から

表千家 友田社中 友田久恵氏

・ひなまつりぬりえ展

平成 24 年 2 月 5 日（火）～3 月 10 日（日）



ぬりえ見学風景

### 4. 陶芸文化講座

##### 趣 旨

古陶磁を身近で鑑賞し、やきものに関する知識を深めもらうため、「陶芸文化講座」を開催します。

やきもの見方や歴史に触れてみたいなど、陶芸文化に関心をお持ちの方を対象とした講座です。

<広報用資料より>

**テ ー マ** 「名品にふれて観る」

**日 時** 第1回 平成 25 年 2 月 23 日（土）  
10:00～12:00

第2回 平成 25 年 2 月 23 日（土）  
14:00～16:00

**会 場** 一般研修室

**主 催** 佐賀県立九州陶磁文化館



陶芸文化講座

**講 師** 佐賀県立九州陶磁文化館 学芸員

**内 容** 古陶磁を手にとってみる場合の安全なマナーについて学ぶとともに、実際に九州陶磁文化館に所蔵している古陶磁の名品を手にとって鑑賞していただきます。  
また、作品を通して、やきものの歴史的な変遷を解説します。

**鑑賞作品** 九州陶磁文化館所蔵の古陶磁 12 点  
(唐津焼、有田焼、鍋島焼、中国磁器など)

**対 象** 陶芸文化に関心を持つ一般の方々  
**定 員** 各回 20 名ずつ

(応募者が定員を超えたときは、初めて参加される方を優先にして、抽選により決定)

**応募方法** 往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加を希望する回を記載する。

**応募締切** 2 月 4 日（月）（消印有効）

**受講料** 500 円

**参加者** 第1回 19 名 第2回 20 名

## 5. 博物館実習

### 趣 旨

博物館実習をする大学生を対象に、館の運営・資料の収集・展示・保管などについて指導する。

### カリキュラム

講 義	内 容	時 間
	館の運営の概要と施設の見学	2 時間
	展覧会の企画実施について	3.5 時間
	陶磁資料の取り扱い方	1 時間
	陶磁概論	3.5 時間
	展示案内の方法	2 時間
	古陶磁の見かた	3.5 時間



博物館実習風景

実 習	内 容	時 間
	テーマ展展示実習	8.5 時間
	受付・案内業務実習	3 時間
	収蔵庫整理	6.5 時間
	展示実習	8 時間
	図書整理	6.5 時間
	広報活動について	3 時間
	展示解説の実務	2 時間
	資料整理実習	1 時間
	テーマ展イベント	3 時間
	その他	11 時間
		68 時間

期 間 平成 24 年 7 月 30 日(月)～8 月 10 日(金)  
(うち 1 名は 8 月 11 日(土)まで)

受 講 者 駒澤大学 1 名  
愛知県立芸術大学 1 名  
筑波大学 1 名  
立教大学 1 名  
長崎国際大学 1 名  
計 5 名

## 6. 印刷物等の刊行

### (1) 将軍家献上の鍋島・平戸・唐津

—精巧なるやきもの—

発行：平成 24 年 10 月 6 日

規格：A4 版 242 ページ

図版：オールカラー写真・掲載件数 227 件

内容：江戸時代、全国有数のやきものの先進地帯、肥前地方で作られた将軍家献上にかかわるやきもの、鍋島焼・平戸焼・唐津焼。

最高権力者が求めた陶磁器を採算度外視で作らされた理由と、製品の特徴を最新の研究成果とともに紹介。



### (2) 館報「セラミック九州」49 号

発行：平成 25 年 3 月 31 日

規格：A4 版 8 ページ

図版：オールカラー写真・図版 37 点

内容：平成 24 年度に実施した特別企画展「将軍家献上の鍋島・平戸・唐津—精巧なるやきもの—」、他テーマ展の報告等。



## 7. 資料鑑識

本館での鑑識依頼 139 組(456 件 499 点)

※このうち 16 組(63 件)は、

平成 24 年 5 月 3 日～5 月 4 日の陶器市期間中に開催した「古陶磁相談」時の相談件数。

その他に、手紙等での鑑識依頼 71 回あり

●教育委員会関係の鑑識は、調査協力に記載した。

## 8. 講演など

No.	期 日	演 題	主 催・場 所	対 象	講 師
1	H.24.5.19	伊万里焼の歴史と特徴について	主催: 中国古陶瓷学会・ 北京芸術博物館 場所: 北京芸術博物館	江戸名瓷伊万里展学 術報告会	館長 鈴田由紀夫
2	H.24.6.2	華麗なる美の競演 伊万里・柿右衛門・鍋島	主催:愛知県陶磁資料館 場所:愛知県陶磁資料館	企画展記念講演会聴 講者	館長 鈴田由紀夫
3	H.24.6.12	佐賀の陶磁器の歴史	主催:(財)佐賀県長寿社会 振興財団 場所:鹿島市生涯学習センター 「エイブル」	ゆめさが大学鹿島校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
4	H.24.6.26	九州の陶磁器の歴史	主催:(財)佐賀県長寿社会 振興財団 場所:鹿島市生涯学習センター 「エイブル」	ゆめさが大学鹿島校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
5	H.24.7.1	【肥前の陶磁器を学ぶ】第1回「有田 焼の歴史」	主催:アートプランニング・ ギャラリーKOGA 場所:アートプランニング・ ギャラリーKOGA	佐世保市民一般聴講者	館長 鈴田由紀夫
6	H.24.8.2	日本の青磁—発生と変遷—	主催:高麗青瓷国際学会議 場所:康津青瓷博物館 陶藝 文化院	学術会議参加者	館長 鈴田由紀夫
7	H.24.8.9	有田焼の歴史	主催:服飾文化学会 場所:佐賀県立九州陶磁文化館	服飾文化学会会員	館長 鈴田由紀夫
8	H.24.8.18	幕末・近代のガラス	主催:佐賀県立佐賀城本丸 歴史館 場所:佐賀県立佐賀城本丸 歴史館	佐賀城本丸歴史館 ゼミナール参加者	学芸員 宇治章
9	H.24.8.31	伊万里焼の歴史と特徴について	主催:遼寧省博物館 場所:遼寧省博物館	江戸名瓷伊万里展記 念講演会聴講者	館長 鈴田由紀夫
10	H.24.9.6	日本陶磁器の中の唐津焼と伊万 里・有田焼そして鍋島焼	主催:東北アジア工芸美術 博覧会組織委員会 場所:遼寧省展覧館大ホール	博覧会シンポジウム 受講者	学芸課長 家田淳一
11	H.24.9.8	有田焼の歴史と魅力	主催:JWTC、佐賀県首都圏 営業本部 場所:ギャラリーRIN	JWTC 会員	館長 鈴田由紀夫
12	H.24.9.18	佐賀県が誇る陶芸文化	主催:佐賀県消防学校 場所:佐賀県消防学校	消防職員 初任科 (第56期) 生	館長 鈴田由紀夫
13	H.24.9.20	骨董の見方(焼き物に見る歴史)	主催:朝日公民館 場所:朝日公民館	朝日町ふれあい講座 参加者	館長 鈴田由紀夫
14	H.24.9.22	唐津焼と朝鮮の関わり	主催:究陶会 場所:佐賀県立九州陶磁文化館	究陶会会員	館長 鈴田由紀夫
15	H.24.10.13	九州の陶磁の概要	主催:(社)有田観光協会 場所:佐賀県立九州陶磁文化館	有田観光協会ガイド	学芸課長 家田淳一
16	H.24.10.21	【肥前の陶磁器を学ぶ】第2回「唐津・ 伊万里、平戸焼の特徴」	主催:アートプランニング・ ギャラリーKOGA 場所:アートプランニング・ ギャラリーKOGA	佐世保市民一般聴講者	館長 鈴田由紀夫
17	H.24.11.1	伊万里焼の歴史と特徴について	主催:大連現代博物館 場所:大連現代博物館	江戸名瓷伊万里展記念 講演会聴講者	館長 鈴田由紀夫
18	H.24.11.1	九州陶磁の歴史	主催:鹿島史談会 場所:佐賀県立九州陶磁文化館	鹿島史談会会員	学芸課長 家田淳一

19	H.24.12.16	パネルディスカッション「これからの唐津焼を育むために」パネリスト	主催:佐賀大学文化教育学部 場所:唐津市民交流プラザ	佐賀大学「ひと・もの作り唐津」プロジェクト研修生、唐津焼関係者、佐賀大学学生、一般聴講生	館長 鈴田由紀夫
20	H.25.1.9	陶芸の伝統と親子の伝承	主催:日本工芸会西部支部 陶芸部会 場所:西日本新聞会館	日本工芸会西部支部 陶芸部会会員	館長 鈴田由紀夫
21	H.25.1.12	日本新工芸西九州工芸展の歴史について	主催:日本新工芸西九州会 場所:磯文館	日本新工芸西九州会 会員	館長 鈴田由紀夫
22	H.25.1.18	伊万里焼の歴史と特徴について	主催:廈門市博物館 場所:廈門市博物館	江戸名瓷伊万里展記念講演会聴講者	館長 鈴田由紀夫
23	H.25.2.13	古伊万里の歴史と特徴	主催:ELEGANCE TEA TABLE 場所:藍田荘	テーブルコーディネーター・特別講座受講生徒	館長 鈴田由紀夫
24	H.25.2.19	佐賀県の陶磁器文化	主催:(財)佐賀県長寿社会振興財団 場所:県男女共同参画センター・生涯学習センター「アバンセ」	ゆめさが大学佐賀校 郷土社会コース生	学芸課長 家田淳一
25	H.25.2.26	九州の陶磁器文化	主催:(財)佐賀県長寿社会振興財団 場所:県男女共同参画センター・生涯学習センター「アバンセ」	ゆめさが大学佐賀校 郷土社会コース生	学芸課長 家田淳一
26	H.25.3.12	有田焼—現代の職人はありえるのか?—	主催:食にまつわるダイアログ実行委員会 場所:サンセバスチャンバスクリナリセンター(スペイン)	食にまつわるダイアログ2013参加者	館長 鈴田由紀夫
27	H.25.3.12	尾崎焼について	主催:尾崎焼研究会 場所:尾崎西分地区公民館	尾崎西分地区住民	学芸課長 家田淳一

## 調査研究活動

### 1. 調査

No.	期日	目的	調査地	調査者
1	H.24.4.22	特別企画展出品作品事前調査	長崎県内	鈴田由紀夫 大橋康二 徳永貞紹 山本文子
2	H.24.4.25	特別企画展出品作品事前調査	佐世保市教育委員会 他	大橋康二 徳永貞紹 山本文子
3	H.24.5.9～10	特別企画展出品作品事前調査	京都府内、大阪文化財研究所 他	徳永貞紹 山本文子
4	H.24.5.17	特別企画展出品作品事前調査	佐賀県内	大橋康二 徳永貞紹 山本文子
5	H.24.5.27～29	特別企画展出品作品事前調査	神奈川県内、文京区教育委員会、 東京都埋蔵文化財センター 他	山本文子
6	H.24.6.14	特別企画展出品作品事前調査	唐津市近代図書館	大橋康二 徳永貞紹 山本文子
7	H.24.6.27	特別企画展出品作品事前調査	福岡県内	鈴田由紀夫 徳永貞紹 山本文子
8	H.24.7.3	特別企画展出品作品事前調査	長崎歴史文化博物館	大橋康二 徳永貞紹

### 2. 調査協力

#### ◎調査協力・館外出張など

No.	期日	内容	場所	依頼	担当者
1	H24.4.9	佐賀県立有田窯業大学校入学式	佐賀県立有田窯業大学校	佐賀県立有田窯業大学校	鈴田由紀夫 宇治章
2	H24.4.9	第29回小石原焼伝統的工芸品展審査	小石原焼伝統産業会館	東峰村・小石原焼陶器 協同組合	鈴田由紀夫
3	H24.5.4	陶祖祭 出席	陶山神社	有田商工会議所	鈴田由紀夫
4	H24.5.28	有田地域雇用創造推進協議会	有田町役場	有田地域雇用創造推 進協議会	鈴田由紀夫
5	H24.5.17 ～21	「江戸名瓷—伊万里展」開幕式出席	北京芸術博物館	北京芸術博物館	鈴田由紀夫
6	H24.5.21 ～23	平戸和蘭商館跡発掘調査出土遺物鑑定	史跡平戸和蘭商館跡ほか	平戸市教育委員会	大橋康二
7	H24.5.24	第52回平成24年度九州博物館協議会理 事会並びに総会	佐賀県立博物館・美術館	九州博物館協議会	鈴田由紀夫 家田淳一
8	H24.5.25	平成24年度第1回嬉野市文化財保護審議会	嬉野市歴史民俗資料館	嬉野市教育委員会	家田淳一
9	H24.5.28	有田地域雇用創造推進協議会	有田町役場	有田地域雇用創造 推進協議会	鈴田由紀夫
10	H24.5.31	第6回日本磁器誕生・有田焼創業400年 事業実行委員会	生涯学習センター	日本磁器誕生・有田焼 創業400年事業実行委 員会	鈴田由紀夫
11	H24.6.4	平成24年度第1回佐賀県文化財担当者会議	佐賀県庁	佐賀県教育庁文化財課	徳永貞紹
12	H24.6.11	『工藤コレクション—鍋島を追い求めた 眼—』開会式出席	市民ギャラリー	伊万里市・伊万里市教 育委員会	鈴田由紀夫 家田淳一

13	H24.6.26	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	宇治章
14	H24.7.11	第7回日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会	生涯学習センター	日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会	鈴木由紀夫
15	H24.7.18	購入候補文化財の価格評価	九州国立博物館	九州国立博物館	鈴木由紀夫
16	H24.7.24 ～25	平成24年度第5回陶磁ネットワーク会議	兵庫陶芸美術館 他		宇治章
17	H24.7.27	有田商工会議所議員総会	有田町生涯学習センター	有田商工会議所	松尾みどり
18	H24.8.3	「人間国宝 九州・沖縄の伝統工芸 技と美」展開会式出席	熊本県伝統工芸館	一般財団法人熊本県伝統工芸館	松尾みどり
19	H24.8.9	第2回有田町総合経済対策会議専門部会	有田町役場	有田町	松尾みどり
20	H24.8.30 ～9.3	「江戸名瓷一伊万里展」開幕式出席	遼寧省博物館	遼寧省博物館	鈴木由紀夫
21	H24.9.13	「生誕90周年記念 山下清展」開場式出席	佐賀県立美術館	佐賀新聞社	松尾みどり
22	H24.9.27	有田焼のブランド戦略についての意見交換会	有田商工会議所	有田商工会議所	鈴木由紀夫
23	H24.10.12	第8回日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会	生涯学習センター	日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会	鈴木由紀夫
24	H24.10.30 ～11.3	「江戸名瓷一伊万里展」開幕式出席	大連現代博物館	大連現代博物館	鈴木由紀夫
25	H24.11.5	第3回有田町総合経済対策会議専門部会	有田町役場	有田町	松尾みどり
26	H24.12.5	第4回有田町総合経済対策会議専門部会	有田町役場	有田町	松尾みどり
27	H24.12.9	第37回義士茶会	佐賀市歴史民族館	茶道宗徧流佐賀支部	鈴木由紀夫
28	H24.12.12	有田陶交会創立60周年記念式典、祝賀会出席	伊万里迎賓館	有田陶交会	鈴木由紀夫
29	H24.12.25	有田焼復刻コレクション創出のための形状データ取得への立会い	佐賀県窯業技術センター	佐賀県陶磁器工業協同組合	家田淳一
30	H25.1.17	有田焼復刻コレクション創出のための形状データ取得への立会い	佐賀県窯業技術センター	佐賀県陶磁器工業協同組合	家田淳一
31	H25.1.17 ～1.21	「江戸名瓷一伊万里展」開幕式出席	廈門市博物館	廈門市博物館	鈴木由紀夫
32	H25.1.22	第110回有田陶器市委員会	有田商工会議所	有田商工会議所	鈴木由紀夫
33	H25.1.25	佐賀大学「ひと・もの作り唐津」プロジェクト平成24年度外部評価委員会会議出席	佐賀大学	佐賀大学「ひと・もの作り唐津」プロジェクト事務局	鈴木由紀夫
34	H25.1.31 ～2.1	平成24年度「九州の近世陶磁」に関する共同研究	宮崎県門川町中央公民館 他	九州国立博物館	徳永貞紹
35	H25.2.7	平成24年度第1回唐津焼美術館（仮称）構想検討委員会	唐津市教育委員会	唐津市教育委員会	鈴木由紀夫
36	H25.2.7	辺谷・成ル遺跡出土近世陶磁器の生産年代、生産地、器種についての鑑定	佐賀県立九州陶磁文化館	岡山県古代吉備文化財センター	家田淳一
37	H25.2.13	武雄市文化財保護審議会	武雄市文化会館	武雄市教育委員会	鈴木由紀夫
38	H25.2.14	第110回有田陶器市委員会（第2回）	有田商工会議所	有田商工会議所	松尾みどり
39	H25.2.20	唐津市千々賀古園経塚出土品鑑定	佐賀県立九州陶磁文化館	佐賀県教育庁文化財課	徳永貞紹
40	H25.2.26 ～2.28	無形文化財（工芸技術）「丹波立杭焼大物制作技術」の調査	丹波立杭焼伝統産業会館、地域民芸品等保存伝習施設、兵庫陶芸美術館ほか	文化庁文化財部	鈴木由紀夫

41	H25.3.11 ～3.12	「食にまつわるダイアログ 2013～手 工芸の未来予想図」への出席	サンセバスチャン バスククリナリセンタ ー（スペイン）	有田商工会議所	鈴木由紀夫
42	H25.3.12	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行 委員会	宇治章
43	H25.3.15	佐賀県立有田窯業高等学校卒業式	佐賀県立有田窯業高等学校	佐賀県立有田窯業高等学校	松尾みどり

## 資料収集活動

### 1. 陶磁資料の収集

平成 24 年度は寄贈資料など 200 件 249 点を収集し、総計 12,501 件 23,490 点となる。

### 2. 図書資料の収集

報告書	371
目録	14
紀要	132
海外	27
図録	179
年報	107
一般図書	32
その他	30
合計	892

## 佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 平成 24 年度 (2012. 4～2013. 3)

凡 例

1. この資料目録は、平成 24 年度 (平成 25 年 3 月 31 日現在) の収蔵資料 200 件 249 点 (寄贈) を掲載した。

購入	0 件	0 点
寄贈	200 件	249 点

平成 24 年度末の館蔵品総数は 12,501 件 23,490 点 である。

2. 「収蔵番号」は、収蔵登録番号と収蔵年度で〈0000-24〉と表示した。

3. 法量は、口径に胴径、最大径を、高さに蓋付総高を ( ) で記入する場合がある。

4.平成 16 年度分類より大区分の一部を変更した。

(1) 「近代資料」(旧：幕末・近代資料)は、以下の 2 項目とする。

130. 佐賀県 近代 (旧：幕末・近代資料 佐賀県)

140. 九州 (県外) 近代 (旧：幕末・近代資料 九州 (県外))

(2) 「九州以外 他」を旧「幕末・近代資料」から分離、新たにつくり時代順とした。

150. 九州以外 近世 (旧 160. 九州以外の陶磁器)

160. 九州以外 近代 (旧 150. 幕末・近代資料 九州以外)

170. 陶磁器関連資料 (文書・図案など)

以上の作業にともない、分類内容を再確認したため、項目により件数の増減がみられるが、総件数は同じである。

5. 平成 24 年度に該当のない分類項目は、目録から省略している。

6. 現代作家作品については、「産地」に「作家名」を入れた。

収蔵番号	資料名	点数	産地	年代	口径	高さ	底径	備考
<b>【011. 唐津系陶器】</b>								
12275 -24	灰釉茶碗	1	肥前・唐津焼	18世紀前半～中葉	11.1	8.6	5.1	(寄贈) 吉岡 三枝子
12294 -24	鉄釉小甕	1	肥前	17世紀	15.1/0.2	24.3	11.5	(寄贈) 爲近 美榮
12295 -24	鉄釉灰釉流三耳壺	1	肥前	17世紀	13.4/27.7	29.8	14.6	(寄贈) 爲近 美榮
12296 -24	鉄釉灰釉流三耳壺	1	肥前	17世紀	20.4/31.7	39.7	17.2	(寄贈) 爲近 美榮
12298 -24	刷毛目鉢	1	肥前	19世紀	15.2	8.9	7.1	(寄贈) 爲近 美榮
12300 -24	刷毛目深鉢	1	肥前	18世紀	29.5	16.7	14.7	(寄贈) 爲近 美榮
12303 -24	灰釉白流瓶	1	肥前	18世紀後半	62/20.1	30.0	9.0	(寄贈) 爲近 美榮
12305 -24	鉄釉貼付波花文三足植木鉢	1	肥前	17世紀末～18世紀	35.2	21.5	脚間14.1	(寄贈) 爲近 美榮
12306 -24	刷毛目壺	1	肥前または福岡	18世紀後半～19世紀	17.4/20.7	24.4	13.5	(寄贈) 爲近 美榮
12307 -24	灰釉小碗	1	肥前	18世紀	11.5	5.2	4.6	(寄贈) 爲近 美榮
12308 -24	鉄釉瓶	1	肥前	1580～1610年代	7.4/19.4	26.7	16.0	(寄贈) 爲近 美榮
12337 -24	鉄釉呉須繪梅花文花生	1	肥前か熊本	19世紀後半	9.0/12.6	42.1	12.1	(寄贈) 爲近 美榮
12339 -24	刷毛目褐白釉流甕	1	肥前か	18～19世紀	16.5/17.2	23.8	12.2	(寄贈) 爲近 美榮
12341 -24	鉄釉三足植木鉢	1	肥前	18～19世紀頃	24.5	18.8	脚間13.4	(寄贈) 爲近 美榮
12342 -24	鉄繪緑彩草文大鉢 (二彩手)	1	肥前	18世紀中葉～幕末	49.2	1.8	15.5	(寄贈) 爲近 美榮
12343 -24	鉄釉程鉢	1	肥前	18世紀頃	34.2	16.5	15.0	(寄贈) 爲近 美榮
12344 -24	鉄釉波文壺	1	肥前	17世紀末～18世紀中葉	16.2/23.0	24.5	13.4	(寄贈) 爲近 美榮
12345 -24	鉄釉褐釉流壺	1	肥前	17世紀末～18世紀中葉	18.8/30.1	36.5	22.0	(寄贈) 爲近 美榮
12365 -24	鉄釉雷文三足植木鉢	1	肥前か	18世紀か	31.5	20.0	脚間16.0	(寄贈) 爲近 美榮
12378 -24	褐釉瓶	1	肥前	1580～1610年代	7.2/19.3	26.2	15.0	(寄贈) 爲近 美榮
12379 -24	鉄釉三耳壺	1	肥前	1590～1610年代頃	9.4/23.8	22.8	10.5	(寄贈) 爲近 美榮
12383 -24	鉄釉甕	1	肥前	18世紀～幕末	17.7/24.5	34.8	15.4	(寄贈) 爲近 美榮
12385 -24	鉄釉甕	1	肥前	17世紀後半～18世紀前半	15.1/22.3	22.2	15.6	(寄贈) 爲近 美榮
12386 -24	鉄釉雷鉢	1	九州	18世紀後半～19世紀	19.6/20.5	8.1	10.5	(寄贈) 爲近 美榮
12387 -24	鉄釉甕	1	肥前	18世紀～幕末	18.0/26.0	31.0	15.4	(寄贈) 爲近 美榮
12388 -24	鉄釉貼付花文植木鉢	1	肥前	18世紀	43.5	26.6	203.0	(寄贈) 爲近 美榮
12389 -24	鉄繪緑彩松文甕 (二彩手)	1	肥前	18世紀	21.7/26.0	24.6	12.9	(寄贈) 爲近 美榮
12390 -24	鉄繪緑彩松文甕 (二彩手)	1	肥前	18世紀	29.6/36.6	30.4	11.7	(寄贈) 爲近 美榮
12394 -24	鉄釉灰釉流瓶	1	肥前	18世紀後半～19世紀	6.0/19.1	24.5	9.0	(寄贈) 爲近 美榮
12395 -24	刷毛目瓶	1	肥前	18世紀	6.1/19.1	26.2	9.5	(寄贈) 爲近 美榮
12405 -24	象嵌雲鶴花文平碗	1	肥前	18世紀後半～幕末	18.6	6.1	6.7	(寄贈) 爲近 美榮
12411 -24	鉄釉刷毛目文瓶	1	肥前	17世紀後半～18世紀初	7.2/24.2	30.5	12.3	(寄贈) 爲近 美榮
<b>【033. 古伊万里・寛文様式】</b>								
12237 -24	色絵花唐草文鉢	1	肥前・有田窯	1655～60年代	12.9	8.0	5.8	(寄贈) 百溪 正明
<b>【034. 古伊万里・延宝様式】</b>								
12255 -24	白磁陽刻花文木瓜形皿	1	肥前・有田・南川原山	1670～90年代	15.2×14.4	4.6	8.6	(寄贈) 百溪 正明
<b>【035. 古伊万里・元禄様式】</b>								

12229	-24	染付唐花文菱形皿	1	肥前 有田窯	1710~50年代	16.1×14.0	4.3	9.7×7.0	(寄贈) 殿村 哲司	
12230	-24	陶胎染付山水文灰吹	1	肥前	1690~1730年代	6.8/9.0	10.2	6.5	(寄贈) 畠山 玉代	
12242	-24	色絵松竹梅鶴亀文輪花皿	1	肥前・有田窯	1720~50年代	28.0	5.0	15.6	(寄贈) ジョン・コーツ John Coates	
12256	-24	色絵青花文蓋付碗	1	肥前・有田窯	1710~50年代	11.5	6.3/8.6	4.9	(寄贈) 百溪 正明	
12257	-24	色絵龍草花文小碗	1	肥前・有田窯	1690~1740年代	8.7	5.1	3.7	(寄贈) 百溪 正明	
<b>【036. 古伊万里・宝暦様式】</b>										
12228	-24	染付貼花文菊花形長皿	1	肥前 有田窯	1750~80年代	18.1×12.0	4.4	7.2	(寄贈) 殿村 哲司	
12236	-24	瑠璃釉金彩鴛鴦文蓋物	1	肥前・有田窯	1730~70年代	11.9	9.0/11.4	9.1	(寄贈) 百溪 正明	
12238	-24	白磁菊花文菊花形小皿	1	肥前・有田窯	18世紀	13.8	4.1	7.2	(寄贈) 百溪 正明	
<b>【037. 古伊万里・天明様式】</b>										
12231	-24	白磁壺	1	肥前系	18世紀後半~19世紀前半	8.6/16.0	17.9	7.7	(寄贈) 百溪 正明	
<b>【038. 古伊万里・文政様式】</b>										
12216	-24	染付水葵文輪花大鉢	1	肥前・有田・南川原山	1810~60年代	42.3×40.7	8.8	22.1	(寄贈) 工藤 吉郎	
12234	-24	色絵吉祥文蓋付碗	1	肥前	1820~60年代	10.7	6.5/8.7	4.2	(寄贈) 百溪 正明	
12250	-24	白磁玉取獅子置物	1	肥前	19世紀	20.9 (最大径)	22.2	18.6×12.0	(寄贈) 柴田 祐子	
12288	-24	染付蝙蝠花弁文輪花手塩皿	1	肥前	1810~60年代	10.4	2.7	5.7	(寄贈) 爲近 美榮	
12331	-24	染付山水文鉢	1	肥前・有田	1820~60年代	22.2	9.5	13.5	(寄贈) 爲近 美榮	
<b>【051. 鍋島藩窯様式】</b>										
12241	-24	陶胎染付山水文碗	1	肥前・鍋島藩窯	18世紀	11.7	7.3	4.9	(寄贈) 百溪 正明	
<b>【060. 長崎の陶磁器】</b>										
12217	-24	染付「三ッ股皿山」銘瓶	1	肥前・波佐見・三股窯	19世紀	4.8/(胴)16.7	29.8	8.9	(寄贈) 島内 慶次郎	
12218	-24	染付「み津のまた」銘瓶	1	肥前・波佐見・三股窯	19世紀	3.0/(胴)12.4	22.8	7.3	(寄贈) 島内 慶次郎	
12233	-24	色絵花文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	18世紀末~19世紀前半	9.9	5.4/7.2	4.4	(寄贈) 百溪 正明	
12271	-24	染付桜折枝文燭台	1	肥前・三川内窯	18世紀前半~中葉	10.0/19.5	44.2/48.5	14.4	(寄贈) 寺崎 恵美子	
12272	-24	染付松竹梅文大皿	1	肥前・三川内窯	17世紀後半	42.1	11.5	23.5	(寄贈) 池田 健作	
12277	-24	灰釉片口鉢	1	肥前・葭本窯	1590~1610年代	22.3	11.8	7.8	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12278	-24	染付朝顔文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	1730~1780年代	10.5	5.9/7.6	4.1	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12279	-24	染付鉄線文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	1730~1780年代	10.7	5.6/7.9	4.4	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12280	-24	染付秋草文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	1730~1780年代	10.6	5.6/7.2	4.4	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12281	-24	染付蒲公英文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	1730~1780年代	10.8	5.8/7.9	4.2	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12282	-24	染付山水文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	18世紀第4四半期	10.6	5.6/9.6	4.3	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12283	-24	染付桜折枝文蓋付碗	1	肥前・三川内窯	1800~1860年代	10.1	5.9/7.9	4.0	(寄贈) 竹田 礎智夫・貞子	
<b>【070. 福岡の陶磁器】</b>										
12239	-24	蛇襷釉鉢	1	福岡か	19世紀	14.1	7.6	5.9	(寄贈) 百溪 正明	
12284	-24	鉄袖手付鉢	1	筑前・高取窯	17世紀前半	25.5	4.6/11.8	18.5	(寄贈) 竹田 礎智夫・貞子	
12293	-24	鉄袖白黒釉溜掛貼付文花生	1	福岡か	19世紀	91/13.0	29.0	9.5	(寄贈) 爲近 美榮	
12310	-24	白釉緑釉流三耳壺	1	福岡か	19世紀か	11.5/27.7	34.0	12.4	(寄贈) 爲近 美榮	
12311	-24	灰釉緑釉排水注	1	福岡か	19世紀か	3.8/12.8	17.9	13.2	(寄贈) 爲近 美榮	

12313	-24	褐緑白釉掛分手付小皿	5	福岡か	19世紀	11.7	6.5	11.0	(寄贈) 爲近 美榮
12314	-24	海鼠釉鉢	1	福岡か	19世紀	13.8	8.2	8.7	(寄贈) 爲近 美榮
12338	-24	鉄釉流壺	1	福岡か	19世紀	14.0/27.3	30.9	11.3	(寄贈) 爲近 美榮
12346	-24	褐釉三耳壺	1	豊前・上野	17世紀	12.1/28.4	31.3	15.7	(寄贈) 爲近 美榮
12351	-24	海鼠釉蓋箱蘭文硯屏	1	豊前・上野	19世紀	-	14.5	16.7×5.3	(寄贈) 爲近 美榮
12355	-24	海鼠釉獅子面三耳壺	1	福岡か	19世紀	12.0/26.3	27.8	13.0	(寄贈) 爲近 美榮
12356	-24	褐釉白流竹文瓶	1	筑前・高取か	19世紀	4.2/13.8	24.1	8.4	(寄贈) 爲近 美榮
12364	-24	褐釉白流瓶	1	筑前・高取か	19世紀	11.7/21.5	40.7	13.8	(寄贈) 爲近 美榮
12393	-24	灰釉流瓶	1	福岡か	18世紀後半～19世紀	26.6/33.1	40.6	15.2	(寄贈) 爲近 美榮
12397	-24	刷毛目鉄釉流皮文注口付壺	1	筑前・小石原	19世紀	11.7/34.	38.1	16.5	(寄贈) 爲近 美榮
12414	-24	鉄釉黒釉流花生	1	福岡か熊本か	18～19世紀	10.5/14.2	31.9	10.9	(寄贈) 爲近 美榮
<b>【080. 熊本の陶磁器】</b>									
12258	-24	鉄釉白釉流瓶掛	1	肥後・小代焼	18世紀	33.6	25.1	23.5	(寄贈) 橋本 茂利
12347	-24	鉄釉土瓶	1	熊本か	18世紀後半～19世紀	9.2/15.3	13.0/15.5	8.5	(寄贈) 爲近 美榮
12348	-24	藁灰釉流注口付壺	1	肥後	19世紀	21.5/34.2	44.9	16.1	(寄贈) 爲近 美榮
12398	-24	灰釉白流小甕	1	熊本か福岡か	19世紀	13.3/14.9	14.5	8.8	(寄贈) 爲近 美榮
<b>【110. 鹿児島島の陶磁器】</b>									
12312	-24	鉄釉藁灰釉流し水注	1	薩摩	19世紀	4.9/11.5	10.0	9.1	(寄贈) 爲近 美榮
12318	-24	灰釉双耳水指	1	薩摩	17世紀	18.7	19.8	19.2	(寄贈) 爲近 美榮
12319	-24	灰釉小壺	1	薩摩	18世紀後半～19世紀	11.3/14.8	15.1	6.7	(寄贈) 爲近 美榮
12320	-24	灰釉三耳壺	1	薩摩	19世紀	11.8/27.7	31.0	12.4	(寄贈) 爲近 美榮
12321	-24	鉄釉小壺	1	薩摩	18世紀～19世紀前半	8.7/13.4	12.5	8.3	(寄贈) 爲近 美榮
12322	-24	灰釉文字珮文瓶	1	薩摩	19世紀	5.6/17.6	24.5	13.7	(寄贈) 爲近 美榮
12323	-24	灰釉瓶	1	薩摩	19世紀	6.8/18.7	24.5	13.7	(寄贈) 爲近 美榮
12335	-24	褐釉瓶	1	薩摩	18世紀後半～19世紀	4.6/16.5	21.2	12.1	(寄贈) 爲近 美榮
12349	-24	蛇焼釉長頸壺	1	薩摩か	18世紀か	11.6/22.7	29.8	16.9	(寄贈) 爲近 美榮
12361	-24	象嵌蕪文鬼面耳付花生	1	薩摩	17世紀後半～18世紀頃	12.7	24.6	12.1	(寄贈) 爲近 美榮
12362	-24	色絵草花文土瓶	1	薩摩	19世紀後半	6.2/13.0	10.3/12.8	脚間9.5	(寄贈) 爲近 美榮
12363	-24	色絵葡萄文蓋付小壺	1	薩摩・磯焼	19世紀後半	6.0/12.8	9.8/12.8	6.6	(寄贈) 爲近 美榮
12366	-24	褐釉壺	1	薩摩	18世紀頃	10.0/24.5	29.0	16.7	(寄贈) 爲近 美榮
12367	-24	緑褐釉四耳大壺	1	薩摩	18～19世紀	17.8/41.9	65.5	18.8	(寄贈) 爲近 美榮
12368	-24	緑釉流冊子形水注	1	薩摩	18～19世紀	1.5/16.2× 3.6	13.4/15.2	10.7×3.7	(寄贈) 爲近 美榮
12369	-24	褐釉陰刻草花幾何文注口付三耳壺	1	薩摩	18～20世紀	9.1/16.5	15.5	11.8	(寄贈) 爲近 美榮
12371	-24	焼締蟹貝貼付手付壺	1	鹿児島	19世紀	10.4	29.2	9.8	(寄贈) 爲近 美榮
12380	-24	灰釉三耳壺	1	薩摩か肥後か	17世紀前半頃	106/29.6	30.2	15.5	(寄贈) 爲近 美榮
12381	-24	鉄釉小壺	1	薩摩	18～19世紀	9.5/13.4	19.1	8.1	(寄贈) 爲近 美榮
12384	-24	鉄釉壺	1	薩摩か	19世紀頃	13.1/18.1	20.0	12.8	(寄贈) 爲近 美榮
12396	-24	焼締鉄釉流羊齒彫文花生	1	南九州	19世紀	12.4×9.1	20.4	10.3× 11.0	(寄贈) 爲近 美榮
12406	-24	呉須絵鉄釉草花文足付小鉢	1	薩摩か	18世紀～幕末	11.5	10.5	8.1	(寄贈) 爲近 美榮

12408 -24	灰釉壺	1	薩摩	19世紀	11.4/26.2	30.1	18.1	(寄贈) 爲近 美榮	
12409 -24	黒釉大黒貼付甘酒半同甕	1	薩摩	18世紀～幕末	30.0	31.1	16.8	(寄贈) 爲近 美榮	
【120. 沖縄の陶磁器】									
12370 -24	焼締三耳壺 (荒焼)	1	琉球	18～21世紀	14.7/34.9	66.3	18.5	(寄贈) 爲近 美榮	
【130. 佐賀県 近代】									
12227 -24	色絵野菜文輪花皿	1	肥前	明治～大正	14.4	3.7	8.1	(寄贈) 殿村 哲司	
12243 -24	釉下彩牡丹文鉢	1	肥前・嬉野・源六焼	明治後期	25.2	9.5	10.3	(寄贈) 池田 健作	
12244 -24	色絵美人文大皿	1	肥前・嬉野・源六焼	昭和	31.0	4.0	8.5	(寄贈) 池田 健作	
12245 -24	染付萩文皿	5	肥前・嬉野・源六焼	大正～昭和	18.2	4.9	9.4	(寄贈) 池田 健作	
12246 -24	釉下彩生垣菊文皿	2	肥前・嬉野・源六焼	明治～大正	15.1	3.2	8.7	(寄贈) 池田 健作	
12247 -24	染付山水文小皿	2	肥前・嬉野・源六焼	明治～大正	12.0	2.8	7.3	(寄贈) 池田 健作	
12248 -24	色絵桐葉文角鉢	5	肥前・嬉野・源六焼	明治～大正	13.0×11.9	5.7	7.3	(寄贈) 池田 健作	
12249 -24	色絵几帳牡丹文鉢 (大・小)	2	肥前・有田窯	明治・大正	(大) 27.9/ (小) 24.8	(大) 11.3/ (小) 10.1	(大) 11.3/ (小) 10.4	(寄贈) 柴田 祐子	
12285 -24	瑠璃釉梅月文蓋付碗	10	年木庵喜三製	明治前半	11.0	5.8/7.7	4.4	(寄贈) 竹田 貞子	
12287 -24	染付龍宝珠波文輪花皿	1	肥前	明治後半～大正	22.1	3.8	12.9	(寄贈) 爲近 美榮	
12330 -24	陸軍食器	1	肥前・塩田・志田陶磁器製	昭和16～20年	17.2	7.1	7.6	(寄贈) 爲近 美榮	
12404 -24	染付杏葉文神酒瓶	1	肥前	明治～大正	4.6/10.9	20.3	6.9	(寄贈) 爲近 美榮	
【140. 九州 (県外) 近代】									
12219 -24	染付「三ッ股山」銘瓶	1	肥前・波佐見・三股窯	明治11年(1879)	8.3/(胴)23.3	32.4	11.5	(寄贈) 島内 慶次郎	
12220 -24	染付「中尾山」銘瓶	1	肥前・波佐見・中尾窯	19世紀後半	5.7/(胴)23.5	37.6	11.2	(寄贈) 島内 慶次郎	
12289 -24	染付鉄釉采螺形蓋物	1	平戸	19世紀後半	7.1/13.8	10.3	1.8×7.6	(寄贈) 爲近 美榮	
12297 -24	鉄絵緑彩松文掛花生	1	福岡・筑後二川	19世紀	9.2	13.8	8.5	(寄贈) 爲近 美榮	
12316 -24	藁灰釉鉄釉双耳花生	1	天草・水の平	20世紀	6.1×6.4/ 13.0×13.0	22.7	6.4×6.5	(寄贈) 爲近 美榮	
12354 -24	鉄釉刺罽瓶	1	豊後・小鹿田	19世紀後半～20世紀	3.6/9.6	32.4	9.5	(寄贈) 爲近 美榮	
【150. 九州以外 近世】									
12226 -24	色絵波鳥文変形皿	5	九谷	19世紀 (幕末～明治)	15.4×12.9	2.8	9.5×7.6	(寄贈) 殿村 哲司	
12232 -24	白磁猪口	1	関西系	18世紀後半～19世紀	6.7	5.5	4.0	(寄贈) 百溪 正明	
12235 -24	色絵豆まき文蓋付碗	1	関西系	18世紀末～19世紀前半	9.7	5.8/7.9	5.1	(寄贈) 百溪 正明	
12240 -24	色絵草花蝶文皿	1	瀬戸・美濃	19世紀	21.1	2.6	10.4	(寄贈) 百溪 正明	
12254 -24	白磁瓶	1	伊予・砥部カ	18世紀末～19世紀前半	5.8/16.4	24.4	8.3	(寄贈) 百溪 正明	
12276 -24	色絵菊文土瓶	1	京都・京焼	江戸後期	8.5	10.6/12.9	8.9	(寄贈) 竹田 礎智夫	
12299 -24	鉄釉竹形筆筒	1	瀬戸・美濃系	18世紀後半～19世紀	7.5	14.0	10.5	(寄贈) 爲近 美榮	
12301 -24	焼締掛花生	1	備前	17世紀カ	9.5	11.4	9.7	(寄贈) 爲近 美榮	
12302 -24	呉須絵山水文双耳小壺	1	関西系	19世紀	11.2	9.5	9.3	(寄贈) 爲近 美榮	
12304 -24	白釉青釉流瓶	1	丹波	19世紀	6.4/13.4	17.9	8.1	(寄贈) 爲近 美榮	
12315 -24	灰釉瓢箪形瓶	1	丹波カ	19世紀	2.4/9.0	16.4	6.6	(寄贈) 爲近 美榮	
12317 -24	鉄釉雲文合子	1	備前カ	19世紀カ	6.0/8.5	総高6.4	5.2	(寄贈) 爲近 美榮	
12324 -24	鉄釉双耳広口花生	1	信楽カ	18～19世紀	26.0	26.7	15.8	(寄贈) 爲近 美榮	

12325	-24	鉄釉双耳壺	1	信楽	19世紀か	9.8/24.3	24.2	20.0	(寄贈) 爲近 美榮
12326	-24	須恵器短頸壺	1	不明	古代	9.3/16.7	14.3	—	(寄贈) 爲近 美榮
12327	-24	三彩釉猪口	1	珉平焼	19世紀	7.5	5.0	5.6	(寄贈) 爲近 美榮
12328	-24	三彩釉盃	1	珉平焼	19世紀	5.6	6.1	3.5	(寄贈) 爲近 美榮
12329	-24	呉須絵鉄彩鳥草文蓋付碗	1	関西	19世紀	12.4	6.2/7.1	5.8	(寄贈) 爲近 美榮
12333	-24	鉄釉小壺	1	東日本か	18~19世紀	7.1	7.0	4.0	(寄贈) 爲近 美榮
12334	-24	鉄釉白流瓶	1	瀬戸・美濃	18世紀頃	4.0/15.2	28.1	10.7	(寄贈) 爲近 美榮
12352	-24	褐釉陽刻鳥文十二角小皿	5	瀬戸・美濃	19世紀	10.4×10.3	3.0	4.8×4.8	(寄贈) 爲近 美榮
12353	-24	白釉緑釉流三足鉢	1	瀬戸・美濃	江戸後期	30.8	14.7	脚間17.5	(寄贈) 爲近 美榮
12357	-24	灰釉飛甌文瓶	1	島根・布志名	19世紀	7.4/27.0	41.7	12.7	(寄贈) 爲近 美榮
12358	-24	呉須絵蓮文蓋物	1	島根か	19世紀	18.2	8.4/12.1	10.5	(寄贈) 爲近 美榮
12359	-24	褐釉白流四耳壺	1	信楽	17世紀後半~18世紀頃	7.5/19.2	22.6	10.0	(寄贈) 爲近 美榮
12360	-24	鉄釉釣瓶形花生	1	信楽か	19世紀	16.6	25.5	11.4	(寄贈) 爲近 美榮
12373	-24	焼縮四耳壺 (刀壺)	1	備前	16世紀後半~17世紀	30.5/48.5	82.9	25.0	(寄贈) 爲近 美榮
12376	-24	焼縮四耳壺	1	備前	16世紀	12.6/27.2	34.6	18.5	(寄贈) 爲近 美榮
12377	-24	焼縮銚子	1	万古系	19世紀	3.8/11.3	15.4	7.0	(寄贈) 爲近 美榮
12391	-24	鉄釉白釉掛横筋文花生	1	瀬戸・美濃系	19世紀	35.8/40.0	45.2	15.5	(寄贈) 爲近 美榮
12392	-24	褐釉瓶	1	関西系 (中国地方か)	19世紀	7.0/13.8	27.6	11.4	(寄贈) 爲近 美榮
12399	-24	緑釉羅漢像	1	瀬戸・美濃か	18~19世紀	—	18.5	9.5×10.0	(寄贈) 爲近 美榮
12400	-24	灰釉瓶	1	瀬戸・美濃	18世紀後半~幕末	3.8/13.1	22.1	10.0	(寄贈) 爲近 美榮
12401	-24	灰釉貼付文壺	1	信楽か	18~19世紀	13.2/23.1	23.5	15.5	(寄贈) 爲近 美榮
12402	-24	灰釉緑釉流花生	1	瀬戸・美濃系	18~19世紀	13.2	17.4	9.4	(寄贈) 爲近 美榮
12403	-24	灰釉緑釉流花生	1	瀬戸・美濃系	18~19世紀	11.7	16.2	9.3	(寄贈) 爲近 美榮
12412	-24	鉄釉碗	1	関西系	19世紀	12.4	7.3	5.2	(寄贈) 爲近 美榮
12413	-24	鉄釉小甕	1	関西系	19世紀	10.3/12.9	14.3	9.7	(寄贈) 爲近 美榮
12415	-24	灰釉流小碗	1	萩	18世紀後半~19世紀	9.8	5.2	3.7	(寄贈) 爲近 美榮
<b>【160.九州以外 近代】</b>									
12253	-24	色絵藤婦人文カップ・ソーサ	2	瀬戸・美濃	明治・大正	(カップ) 5.6 (ソーサ) 11.3	(カップ) 5.9 (ソーサ) 1.6	(カップ) — (ソーサ) 6.4	(寄贈) 大橋康二
12290	-24	染付唐草波文急須	1	関西系	明治・大正	6.3/11.0	総高7.0	6.6	(寄贈) 爲近 美榮
12292	-24	藁灰釉獅子形香炉	1	萩か	20世紀か	—	総高15.4	脚間8.9	(寄贈) 爲近 美榮
12336	-24	染付山水文瓶	2	兵庫・出石	明治~昭和初	4.0/8.5	22.2	8.4	(寄贈) 爲近 美榮
12372	-24	色絵亀置物 (大・小)	2	備前	19世紀後半~20世紀	大7.5×12.0 小7.0×11.5	4.9 4.5	— —	(寄贈) 爲近 美榮
12374	-24	色絵人物山水文深皿	1	石川・九谷	明治~大正	19.0	4.4	8.3	(寄贈) 爲近 美榮
<b>【180.中国の陶磁器】</b>									
12251	-24	白磁碗	1	中国・福建	11~12世紀	15.3	5.2	6.3	(寄贈) ジャカルタ市 陶磁美術館
12252	-24	陶器四耳小壺	1	中国	11~12世紀か	10.0	6.0	6.8	(寄贈) ジャカルタ市 陶磁美術館
12291	-24	鉄釉注口付小壺	1	中国 (福建・広東)	17~18世紀	4.3/14.8	13.4	12.7	(寄贈) 爲近 美榮
12332	-24	鉄釉白釉掛壺	1	中国か	清朝か	9.5/17.4	11.9	14.4	(寄贈) 爲近 美榮

12340 -24	褐袖小壺	1	中国	清朝頃	7.5/12.4	8.4	8.7	(寄贈) 為近 美榮
12350 -24	褐袖壺	1	中国	明時代か	14.5/33.6	42.6	14.1	(寄贈) 為近 美榮
12375 -24	染付壺芝文碗	1	中国	19世紀	16.4	7.1	6.8	(寄贈) 為近 美榮
12382 -24	鉄袖四耳壺	1	中国	16~17世紀	11.8/35.7	34.5	14.3	(寄贈) 為近 美榮
12410 -24	褐袖壺	1	中国	18~19世紀	12.5/36.2	46.5	18.1	(寄贈) 為近 美榮
<b>【190. 朝鮮の陶磁器】</b>								
12309 -24	灰袖小壺	1	高麗	高麗時代	2.7/6.1	5.9	33.0	(寄贈) 為近 美榮
12407 -24	鉄袖波文瓶	1	朝鮮	18~19世紀か	9.3/17.3	24.3	13.8	(寄贈) 為近 美榮
<b>【230. 現代作家 佐賀県I】</b>								
12222 -24	掛花生	1	澤田痴陶人 /知山陶苑 (岐阜県)	昭和26~34年	/20.2 (幅)	14.2	/3.6 (厚さ)	(寄贈) 松尾 径子
12223 -24	草文水注 (タタキ)	1	澤田痴陶人 /知山陶苑 (岐阜県)	昭和26~34年	7.8/23.0(最大) /14.5(14.5)	14.3	7.7	(寄贈) 松尾 径子
12224 -24	瓜文変形皿	1	澤田痴陶人	昭和26~34年	12.8×12.7	2.5	6	(寄贈) 松尾 径子
12225 -24	幾何学文変形皿	1	澤田痴陶人	昭和26~34年	20.2×20.1	3.7	10	(寄贈) 松尾 径子
12286 -24	色絵薄墨墨よじき雪文鉢	1	14代今泉今右衛門	平成24年 (2012)	45.6	15.6	13.1	(寄贈) 今泉 今右衛門
<b>【240. 現代作家 佐賀県II】</b>								
12259 -24	油滴天目茶盃	1	初代松本佩山	昭和36年	12.6	62.0	3.8	(寄贈) 矢野 徳子
12260 -24	文字天目茶盃	1	2代松本佩山	昭和50年代	14.2	5.7	4.1	(寄贈) 矢野 徳子
12261 -24	耀変天目茶盃	1	2代松本佩山	昭和40~41年	12.2	6.7	4.0	(寄贈) 矢野 徳子
12262 -24	辰砂釉酒器(銚子・盃)	3	2代松本佩山	昭和50年代	銚子2.5/5.8 盃4.3	13.7 4.6	4.0 2.9	(寄贈) 矢野 徳子
12263 -24	釉彩鳥文壺	1	2代松本佩山	昭和39~41年	10.7/19.2	18.5	10.0	(寄贈) 矢野 徳子
12264 -24	青磁松梅文瓢形瓶	1	2代松本佩山	昭和39~41年	2.0/11.2	19.2	6.2	(寄贈) 矢野 徳子
12265 -24	釉下彩絵変盃	5	2代松本佩山	昭和50年代	4.4	5.7	2.8	(寄贈) 矢野 徳子
12266 -24	鉄絵図変盃	5	2代松本佩山	昭和50年代	4.2	5.6	3.4	(寄贈) 矢野 徳子
12267 -24	雪白釉笹文盃	5	2代松本佩山	昭和60年代初	4.1	3.9	2.1	(寄贈) 矢野 徳子
12268 -24	青磁花入	1	2代松本佩山	昭和36~40年	2.9/11.5	28.2	7.2	(寄贈) 矢野 徳子
12269 -24	白磁星々置物	1	2代松本佩山	昭和25~35年	猩々一 壺6.3	12.7 7.0	6.4×4.0 3.4	(寄贈) 矢野 徳子
12270 -24	青磁袴香戸(火屋付)	1	初代松本佩山	昭和20年代	14.4	12.3/14.6	脚間10.5	(寄贈) 矢野 徳子
<b>【300. 現代作家 鹿児島】</b>								
12221 -24	集い	1	神田和弘	平成24年(2012)	56.5×50.0	39.5	20.5× 20.5	(寄贈) 神田 和弘
<b>【330. 現代作家 国外】</b>								
12273 -24	多屋旋埴吊球	1	邢良坤	平成24年(2012)	—	30.9	脚間21.7	(寄贈) 邢 良坤
12274 -24	茶道碗	1	邢良坤	平成24年(2012)	18.2	11.6	6.3	(寄贈) 邢 良坤

資料件数一覧

		S53~H23						H24						合計					
		件数			点数			件数			点数			件数			点数		
		購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計
近世の肥前陶磁	011.唐津系陶器	49	196	245	61	225	286		32	32		32	32	49	228	277	61	257	318
	021.初期伊万里様式	36	212	248	61	329	390			0			0	36	212	248	61	329	390
	030.古伊万里様式	278	4684	4962	500	11507	12007		16	16		16	16	278	4700	4978	500	11523	12023
	031.古伊万里・正保様式	51	167	218	103	268	371			0			0	51	167	218	103	268	371
	032.古伊万里・承応様式	8	283	291	20	462	482			0			0	8	283	291	20	462	482
	033.古伊万里・寛文様式	61	934	995	115	1751	1866		1	1		1	1	61	935	996	115	1752	1867
	034.古伊万里・延宝様式	37	831	868	58	1891	1949		1	1		1	1	37	832	869	58	1892	1950
	035.古伊万里・元禄様式	86	1413	1499	132	3343	3475		5	5		5	5	86	1418	1504	132	3348	3480
	036.古伊万里・宝暦様式	7	426	433	21	1647	1668		3	3		3	3	7	429	436	21	1650	1671
	037.古伊万里・天明様式	5	543	548	21	1636	1657		1	1		1	1	5	544	549	21	1637	1658
	038.古伊万里・文政様式	23	440	463	30	1309	1339		5	5		5	5	23	445	468	30	1314	1344
	041.柿右衛門様式	29	86	115	33	197	230			0			0	29	86	115	33	197	230
051.鍋島藩窯様式	55	135	190	67	403	470		1	1		1	1	55	136	191	67	404	471	
	小計	447	5666	6113	722	13461	14183	0	49	49	0	49	49	447	5715	6162	722	13510	14232
近世の九州陶磁 (県外)	060.長崎の陶磁器	51	78	129	121	207	328		12	12		12	12	51	90	141	121	219	340
	070.福岡の陶磁器	39	151	190	43	162	205		16	16		20	20	39	167	206	43	182	225
	080.熊本の陶磁器	31	34	65	61	43	104		4	4		4	4	31	38	69	61	47	108
	090.大分の陶磁器	3	1	4	3	1	4			0			0	3	1	4	3	1	4
	100.宮崎の陶磁器	2	1	3	2	1	3			0			0	2	1	3	2	1	3
	110.鹿児島島の陶磁器	62	45	107	63	60	123		24	24		24	24	62	69	131	63	84	147
	120.沖縄の陶磁器	77	15	92	77	15	92		1	1		1	1	77	16	93	77	16	93
	小計	265	325	590	370	489	859	0	57	57	0	61	61	265	382	647	370	550	920
資料 近代	130.佐賀県 近代	36	775	811	58	1665	1723		12	12		32	32	36	787	823	58	1697	1755
	140.九州(県外) 近代	8	76	84	9	225	234		6	6		6	6	8	82	90	9	231	240
	小計	44	851	895	67	1890	1957	0	18	18	0	38	38	44	869	913	67	1928	1995
九州以外	150.九州以外 近世	10	275	285	19	390	409		39	39		47	47	10	314	324	19	437	456
	160.九州以外 近代	4	136	140	4	238	242		6	6		9	9	4	142	146	4	247	251
	170.陶磁器関連資料(文書・図案など)	8	1907	1915	15	2549	2564			0			0	8	1907	1915	15	2549	2564
	小計	22	2318	2340	38	3177	3215	0	45	45	0	56	56	22	2363	2385	38	3233	3271
世界の陶磁器	180.中国の陶磁器	29	291	320	38	412	450		9	9		9	9	29	300	329	38	421	459
	190.朝鮮の陶磁器	0	106	106	0	108	108		2	2		2	2	0	108	108	0	110	110
	200.アジアの陶磁器	0	33	33	0	33	33			0			0	0	33	33	0	33	33
	210.ヨーロッパの陶磁器	39	30	69	40	66	106			0			0	39	30	69	40	66	106
	220.その他の世界の陶磁器	0	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0	0	0	0
		小計	68	460	528	78	619	697	0	11	11	0	11	11	68	471	539	78	630
現代作家作品	230.佐賀県 I	48	1628	1676	48	2087	2135		5	5		5	5	48	1633	1681	48	2092	2140
	240.佐賀県 II 松本佩山	0	74	74	0	99	99		12	12		26	26	0	86	86	0	125	125
	250.長崎県	3	12	15	3	12	15			0			0	3	12	15	3	12	15
	260.福岡県	4	9	13	4	9	13			0			0	4	9	13	4	9	13
	270.熊本県	2	0	2	2	0	2			0			0	2	0	2	2	0	2
	280.大分県	0	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0	0	0	0
	290.宮崎県	0	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0	0	0	0
	300.鹿児島県	2	1	3	2	1	3		1	1		1	1	2	2	4	2	2	4
	310.沖縄県	0	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0	0	0	0
	320.九州以外	2	36	38	2	46	48			0			0	2	36	38	2	46	48
	330.国外	2	12	14	2	13	15		2	2		2	2	2	14	16	2	15	17
	小計	63	1772	1835	63	2267	2330	0	20	20	0	34	34	63	1792	1855	63	2301	2364
	合計	909	11392	12301	1338	21903	23241	0	200	200	0	249	249	909	11592	12501	1338	22152	23490

佐賀県立九州陶磁文化館年報・資料目録  
平成 24 年度 No.32

発行日 平成 25 年 7 月 20 日  
編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

〒844-8585  
佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1  
TEL 0955-43-3681 FAX 0955-43-3324  
[https://www.pref.saga.lg.jp/web/at-contents/\\_bunka/k\\_shisetsu/kyuto.html](https://www.pref.saga.lg.jp/web/at-contents/_bunka/k_shisetsu/kyuto.html)  
E-mail:kyuto@pref.saga.lg.jp

